

第2回 アンケート結果 (老健入所)

LIFE活用支援委員会

目次① ※項目からページに移れます

(右クリックリンク開く、クリック)

1.	<u>アンケートの目的</u>	4
2.	<u>回収結果</u>	4
1)	<u>LIFE加算の取得率、データ提出方法</u>	5
2)	<u>利用している介護ソフト</u>	6
3)	<u>科学的介護推進加算</u>	7
4)	<u>リハビリテーションマネジメント計画書情報加算</u>	12
5)	<u>褥瘡マネジメント加算</u>	17
6)	<u>自立支援加算</u>	21
7)	<u>排泄支援加算</u>	26
8)	<u>栄養マネジメント強化加算</u>	30
9)	<u>口腔衛生管理加算</u>	34
10)	<u>かかりつけ医連携薬剤調整加算</u>	39
11)	<u>労力削減の工夫</u>	43

目次② ※項目からページに移れます (右クリック リンク開く、クリック)

12) <u>労力と対価は見合うか？</u>	44
13) <u>LIFE取得施設からの道老健協LIFE活用支援委員会への要望や期待</u>	45
14) <u>LIFE未取得施設が取得したいと思う加算</u>	46
15) <u>LIFE未取得施設が感じるLIFE取得の課題</u>	47
16) <u>LIFE未取得施設からの道老健協LIFE活用支援委員会への要望や期待</u>	48
3. 考察	
① <u>加算取得に係る負担感の要因</u>	49
② <u>取得しやすいと見込まれる加算</u>	52
③ <u>LIFEへの取り組みに関する「労力」の本質</u>	53
4. <u>終わりに</u>	54

1. アンケートの目的

- ▶ R6年8月に実施した第1回目のアンケート調査から、LIFE加算を取得するにあたり労力が課題の一つとなっていることが解った。今回はその労力について、より詳細な調査を行い、会員施設へ向けてLIFE（科学的介護情報システム）に関する労力削減の方法を提案できるように、負担となっている要素を調査する。
- ▶ LIFE未算定の会員施設が、算定できるようになるために課題の分析を行う。
- ▶ 既にLIFEを算定している会員施設が、算定できる加算の種類が増やせるように課題の分析を行う。

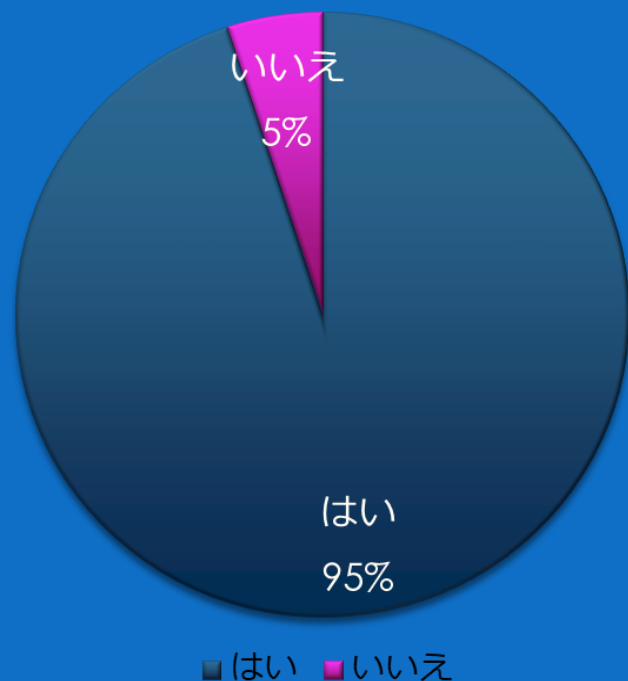
2. 回収結果

- ▶ 正会員施設数 154施設
- ▶ アンケート回答数 67

（内1施設からの重複回答は1つに統合し有効回答数「60」とした）

- ▶ 回収率39.0%（回答施設数/正会員施設数）

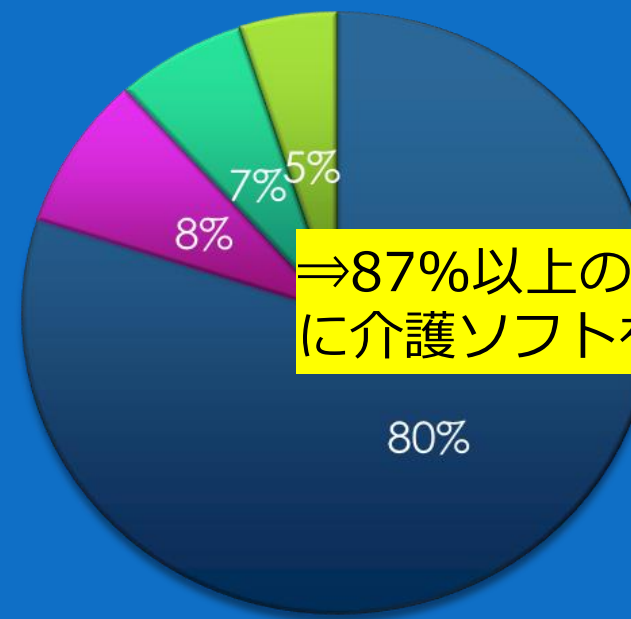
質問1. LIFE（科学的介護情報システム）加算のうち何かを取得していますか？



- ▶ はい 57施設
- ▶ いいえ 3施設

⇒95%の施設が1つ以上の加算を取得している。

質問2. LIFEのデータ提出方法を教えてください。

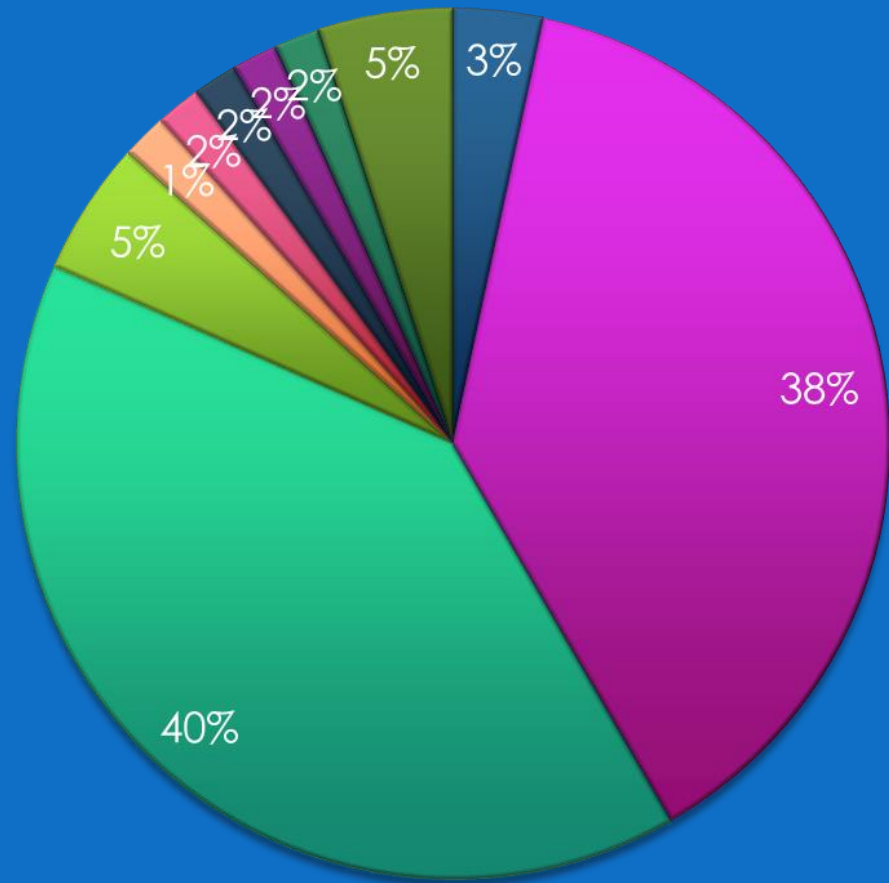


⇒87%以上の施設がデータ提出に介護ソフトを利用している。

- 介護ソフトでデータを吐き出したものを取り込み
- LIFE（科学的情報システム）のサイトで直接入力
- 上記両方のパターン
- 回答なし

- ▶ 介護ソフトでデータを吐き出したものを取り込み 48施設
- ▶ LIFE（科学的情報システム）のサイトで直接入力 5施設
- ▶ 上記両方のパターン 4施設

質問3.利用している介護ソフトが何か教えてください。



- 介護ソフトは未使用
- ワイズマンシステム S P
- ほのぼのNEXT
- ケアカルテ
- 寿
- Blue Ocean
- First Care
- i-MEDIC
- wincare
- 未回答

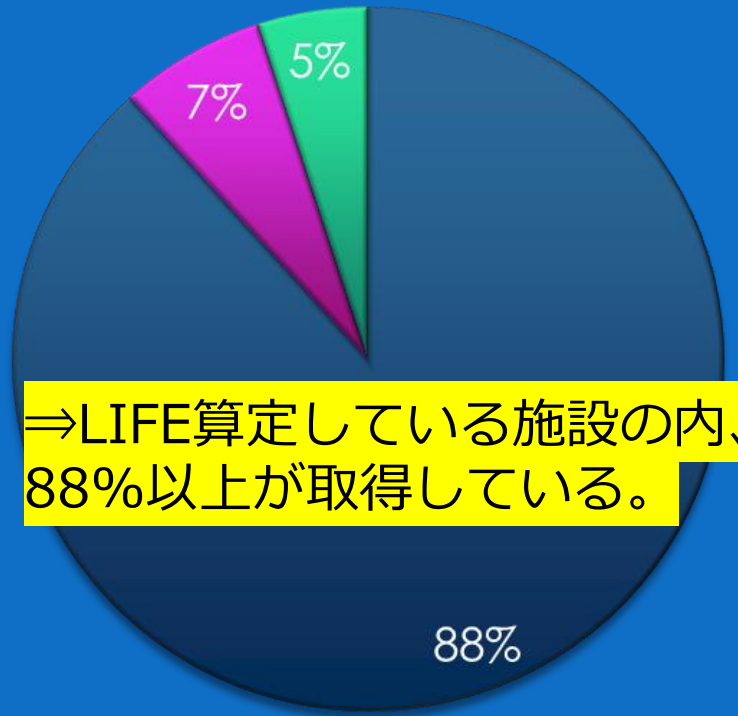
介護ソフトは未使用	2
ワイズマンシステム S P	23
ほのぼのNEXT	24
ケアカルテ	3
寿	1
Blue Ocean	1
First Care	1
i-MEDIC	1
wincare	1
未回答	3

⇒「ワイズマン」と「ほのぼの」がそれぞれ約40%ずつのシェア

質問4. 【科学的介護推進加算（Ⅰ）（Ⅱ）加算】について

①取得していますか？

- ▶ 取得している 53施設
- ▶ 取得していない 4施設
- ▶ 未回答 3施設

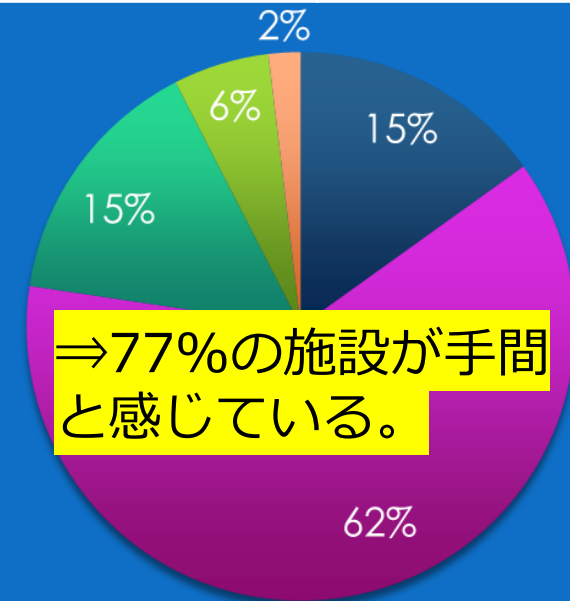


⇒LIFE算定している施設の内、88%以上が取得している。

■ 取得している ■ 取得していない ■ 未回答

②入力する内容について、詳しい職種への確認や共同作業の手間について教えてください。

非常に手間	8
まあまあ手間	33
標準的	8
あまり手間ではない	3
手間ではない	1

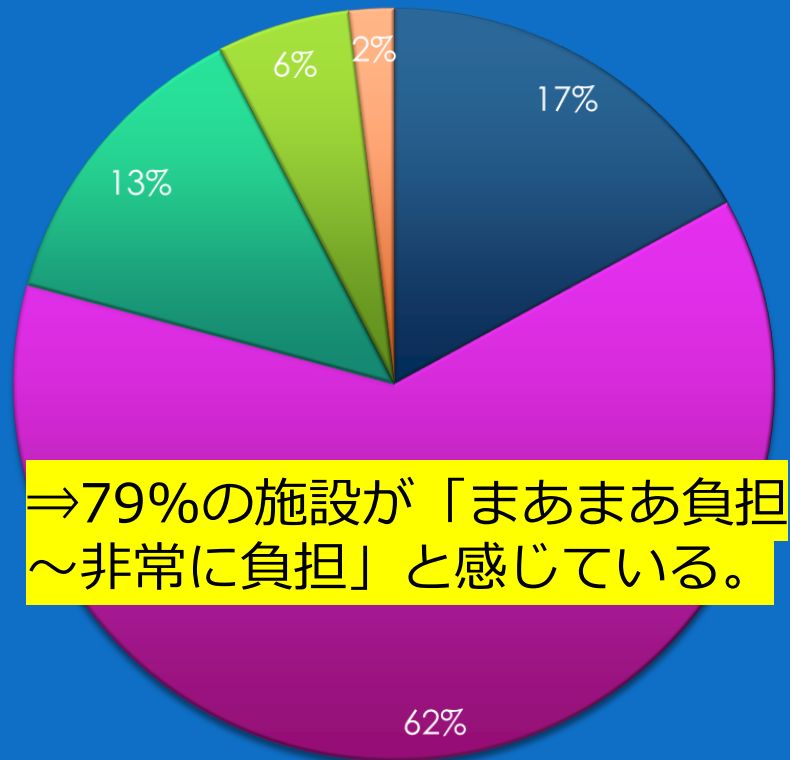


⇒77%の施設が手間と感じている。

■ 非常に手間 ■ まあまあ手間 ■ 標準的
■ あまり手間ではない ■ 手間ではない

③入力作業の負担感の大きさについて教えてください。

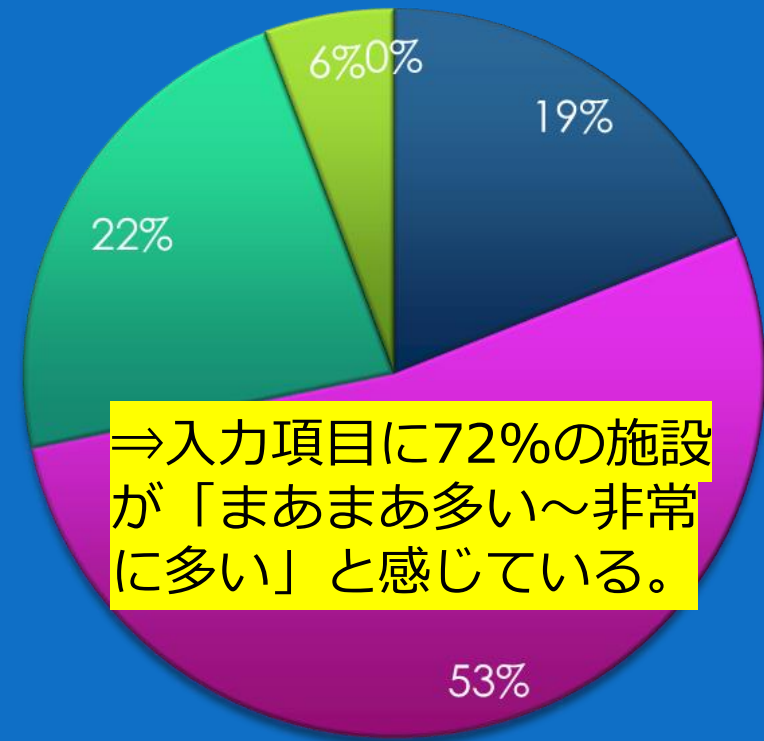
非常に負担	9
まあまあ負担	33
標準的	7
あまり負担ではない	3
負担ではない	1



■非常に負担 ■まあまあ負担 ■標準的
■あまり負担ではない ■負担ではない

④入力項目の多さについて教えてください。

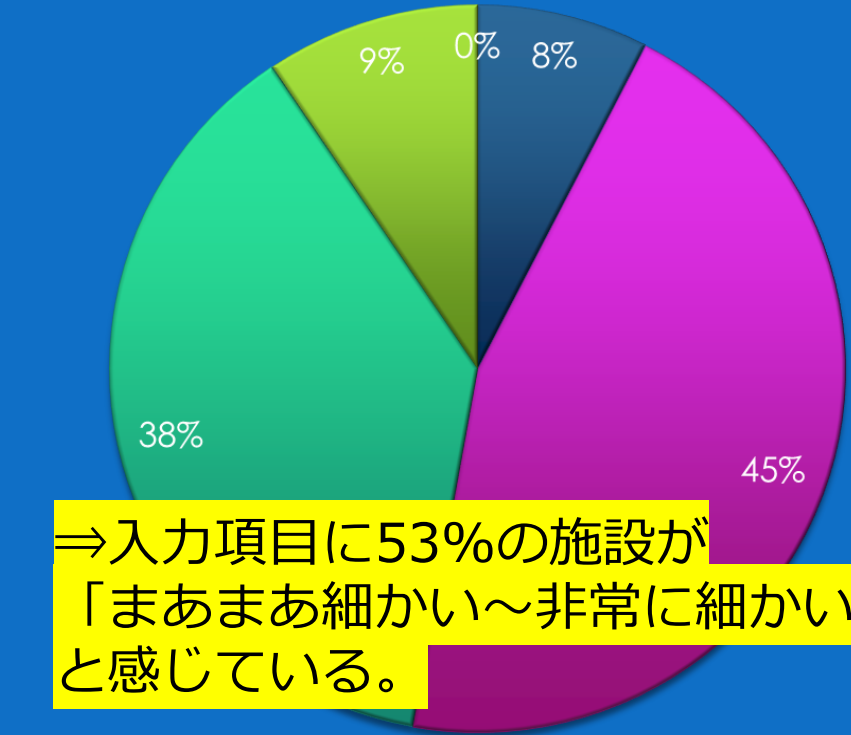
非常に多い	10
まあまあ多い	28
標準的	12
あまり多くない	3
多くない	0



■非常に多い ■まあまあ多い ■標準的
■あまり多くない ■多くない

⑤入力項目の**内容の細かさ**について教えてください。

非常に細かい	4
まあまあ細かい	24
標準的	20
あまり細かくない	5
細かくない	0

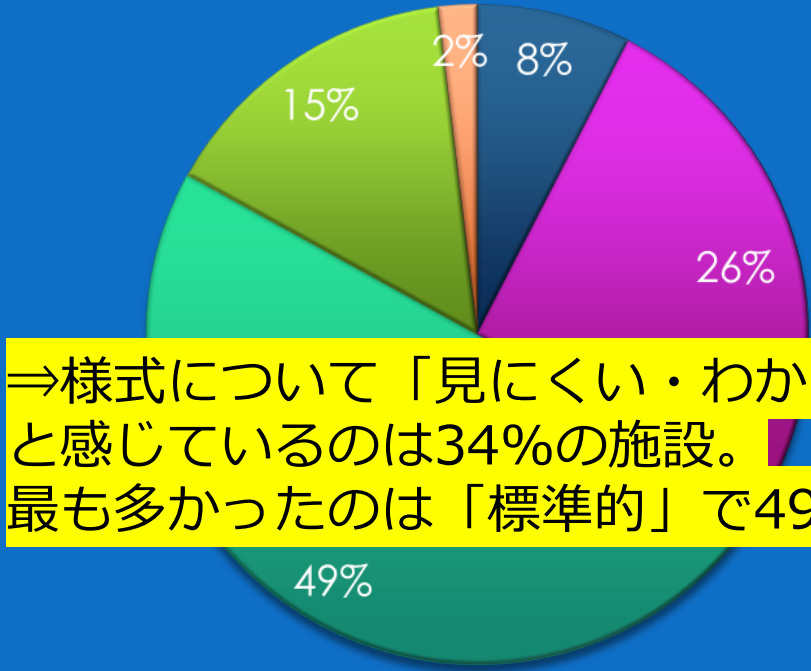


⇒入力項目に53%の施設が「まあまあ細かい～非常に細かい」と感じている。

- 非常に細かい
- まあまあ細かい
- 標準的
- あまり細かくない
- 細かくない

⑥様式の見にくさ、わかりにくさについて教えてください。

非常に見にくい、わかりにくい	4
まあまあ見にくい、わかりにくい	14
標準的	26
まあまあ見やすい、わかりやすい	8
見やすい、わかりやすい	1



⇒様式について「見にくい・わかりにくい」と感じているのは34%の施設。
最も多かったのは「標準的」で49%の施設。

- 非常に見にくい、わかりにくい
- まあまあ見にくい、わかりにくい
- 標準的
- まあまあ見やすい、わかりやすい
- 見やすい、わかりやすい

⑦特に労力を有する入力項目があれば具体的にどの項目か教えてください。

服薬情報	8	⇒「服薬情報」「病名・診断名」「認知機能尺度（DBD13）」の順で多い。 自由記載の問にも関わらず、ある程度ご回答いただいた項目がまとまっており、共通してそのように感じている傾向がうかがえる。 また取得施設の7割弱から回答が得られた。
病名・診断名	5	
病歴	2	
認知機能尺度（DBD13）	5	
栄養情報	4	
口腔関連	3	⇒介護ソフトでの取込不可項目は口腔関連・生活・認知機能である。介護ソフトが有効活用できていないと入力 の負担が増す。後述する栄養マネジメント強化加算が取得 できているか否かも影響していると推測される。
ADL（Barthel index）	2	
ICFステージング	2	
＜その他＞		
・ 根源がないもので直接打ち込まなければならない項目が手間です。		
・ 現病歴や服薬状況、処方箋など、新規の打ち込みもあるが、コードが無いものもあり、反映されずエラーが出るなどの確認、修正作業。		
・ データ収集と提出作業		
・ 認知症尺度ICFの入力がR4システムを使っていない為、取込不可		
・ 必須項目が減り作業負担は軽減された。		

⑧職員のそれぞれの作業時間について教えてください。

※作業時間とは「アセスメントからLIFEに登録・送付するまでの時間」とする。

・チェック箇所が複数でも可。

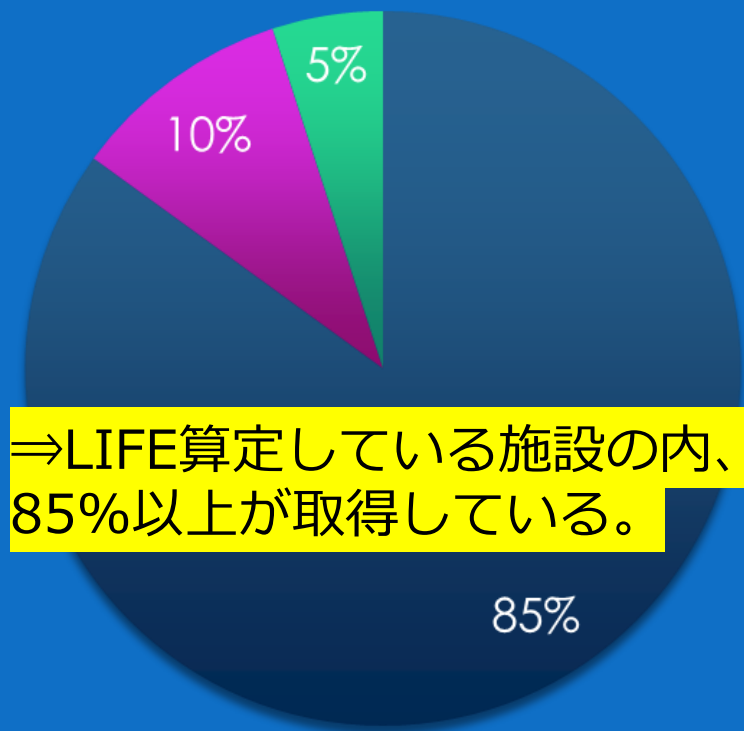
総作業人数	該当施設数	作業の最短時間
1	9	30分未満
2	2	1時間
3	7	1時間
4	6	1時間30分
5	1	2時間
6	1	2時間30分
8	1	9時間30分
5以上	9	2時間30分
6以上	3	7時間
7以上	1	11時間
10以上	1	15時間
12以上	2	7時間
15以上	5	10時間

- ・作業を1名で完結させている施設が全体の約2割。
- ・一方で後述する質問5（スライド50）「労力削減の工夫」で「作業を分担している」施設が約9割。
- ・作業人数について、「現場でアセスメントをする人員を含めた人員数」と「得られたアセスメント結果を登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と設問の解釈が分かれたのではないか。
- ・「科学的介護は一連の作業を1名にしている」という可能性もあるが、現実的か疑わしい。
- ・総作業人数ごとに作業時間の比較を試みたが、設問の解釈が統一されないと見当違いなこととなる。
- ・参考までに一連の作業について、最短で行えている時間数を掲載する。

【リハビリテーションマネジメント計画書情報加算】について

①取得していますか？

- ▶ 取得している 51施設
- ▶ 取得していない 6施設
- ▶ 未回答 3施設

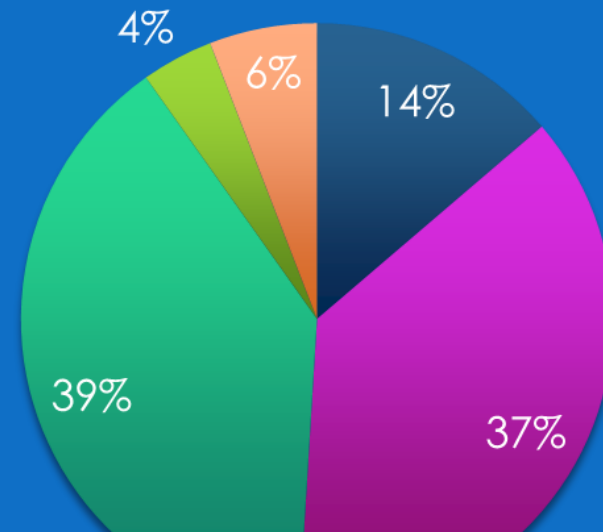


⇒LIFE算定している施設の内、85%以上が取得している。

■ 取得している ■ 取得していない ■ 未回答

②入力する内容について、詳しい職種への確認や共同作業の手間について教えてください。

非常に手間	7
まあまあ手間	19
標準的	20
あまり手間ではない	2
手間ではない	3

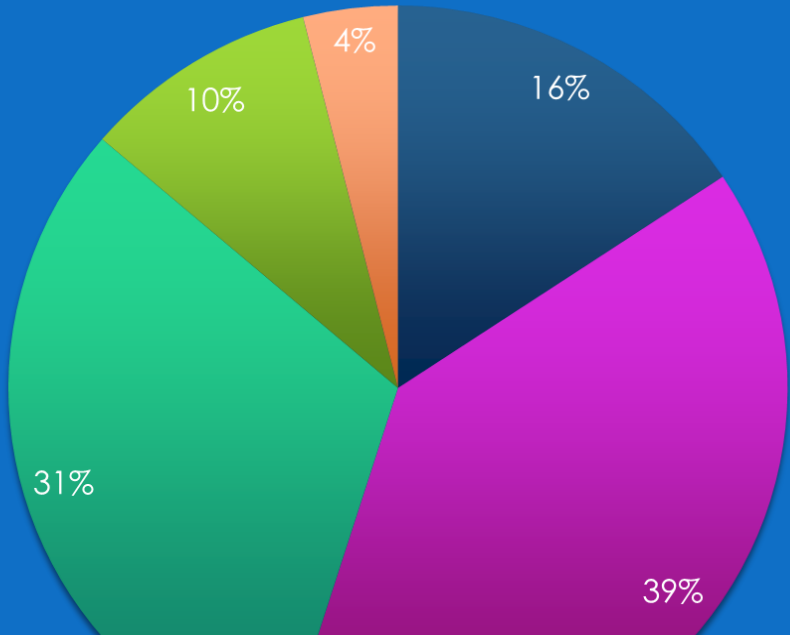


⇒入力内容の確認や作業で「手間と感じている」と「標準～手間ではない」が約半数ずつ。

■ 非常に手間 ■ まあまあ手間 ■ 標準的
■ あまり手間ではない ■ 手間ではない

③入力作業の負担感の大きさについて教えてください。

非常に負担	8
まあまあ負担	20
標準的	16
あまり負担ではない	5
負担ではない	2

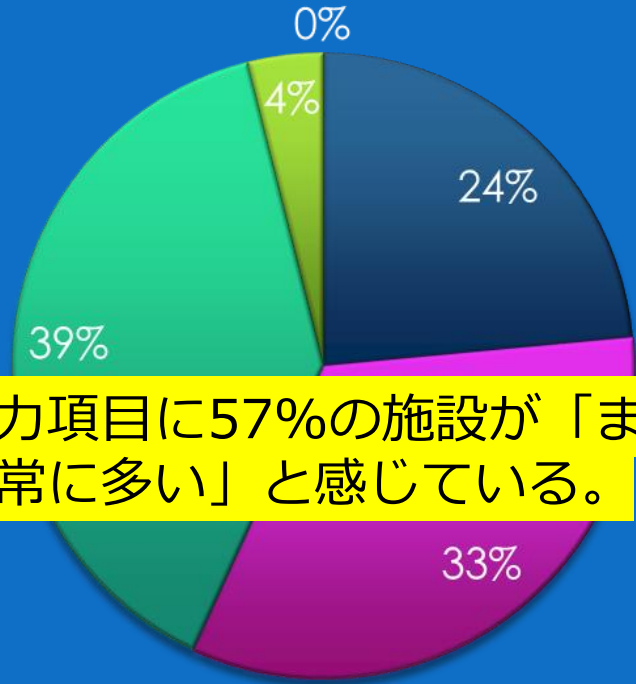


⇒入力作業に55%の施設が「まあまあ負担～非常に負担」と感じている。

■非常に負担 ■まあまあ負担 ■標準的
■あまり負担ではない ■負担ではない

④入力項目の多さについて教えてください。

非常に多い	12
まあまあ多い	17
標準的	20
あまり多くない	2
多くない	0

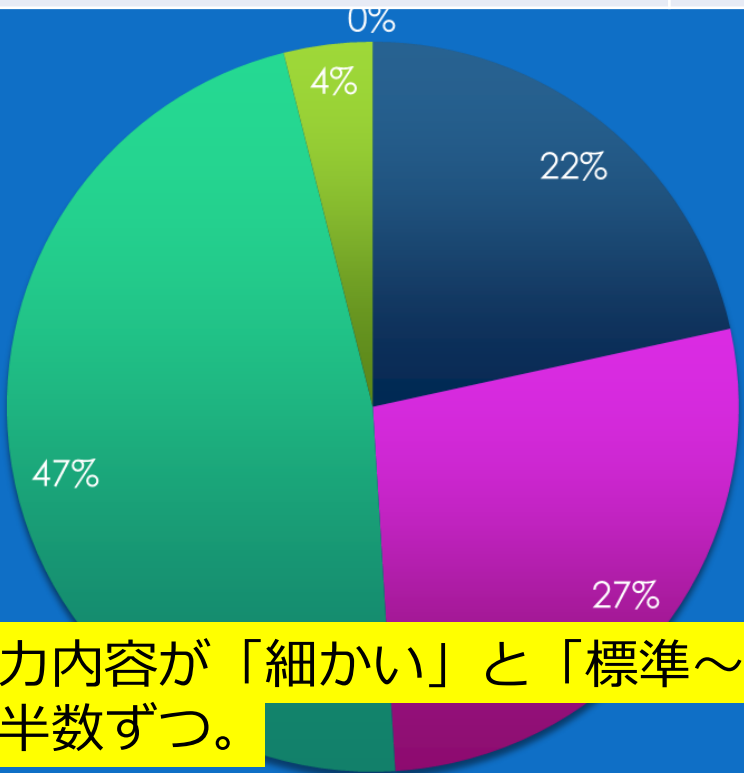


⇒入力項目に57%の施設が「まあまあ多い～非常に多い」と感じている。

■非常に多い ■まあまあ多い ■標準的
■あまり多くない ■多くない

⑤入力項目の**内容の細かさ**について教えてください。

非常に細かい	11
まあまあ細かい	14
標準的	24
あまり細かくない	2
細かくない	0

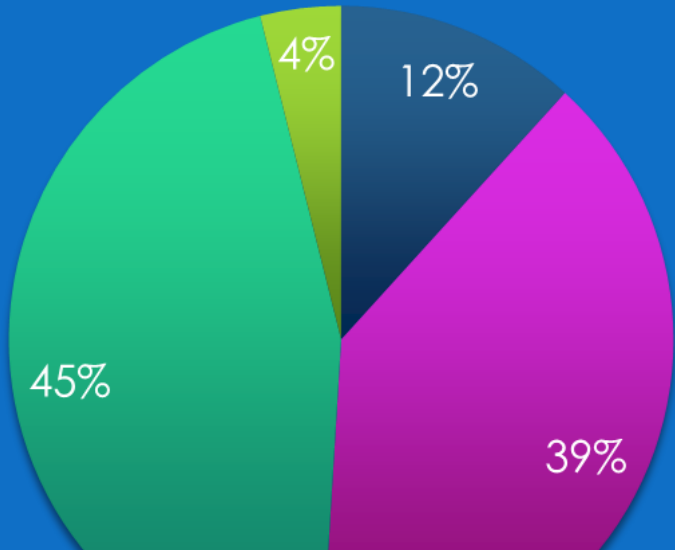


⇒入力内容が「細かい」と「標準～細かくない」が約半数ずつ。

- 非常に細かい
- まあまあ細かい
- 標準的
- あまり細かくない
- 細かくない

⑥**様式の見にくさ、わかりにくさ**について教えてください。

非常に見にくい、わかりにくい	6
まあまあ見にくい、わかりにくい	20
標準的	23
まあまあ見やすい、わかりやすい	2
見やすい、わかりやすい	0



⇒様式について「見にくい・わかりにくい」と「標準的～わかりやすい」が約半数ずつ。

- 非常に見にくい、わかりにくい
- まあまあ見にくい、わかりにくい
- 標準的
- まあまあ見やすい、わかりやすい
- 見やすい、わかりやすい

⑦特に労力を有する入力項目があれば具体的にどの項目か教えてください。

ADL (Barthel index) : 2

IADL

TUG等の検査項目の数値

心身機能・構造、活動、目標関係

全体的に項目量が多すぎる

計画書の作成に時間を要しています。

更新毎の入力作業

入力の不備や漏れ、データがあるか等、ひとつずつ手作業で確認しなければならない。介護ソフトをCSV化して関数などで確認する事ができない。

リハマネ関連書類の入力業務をリハビリスタッフのみで行っているため、労力は全体的に多いです。

計画書として項目が不足している箇所があるため、項目を追加して欲しい。

⇒リハ計画書そのものの作成に労力を要す傾向がうかがえる。

⑧職員の**それぞれの作業時間**について教えてください。

※作業時間とは「アセスメントからLIFEに登録・送付するまでの時間」とする。

・チェック箇所が複数でも可。

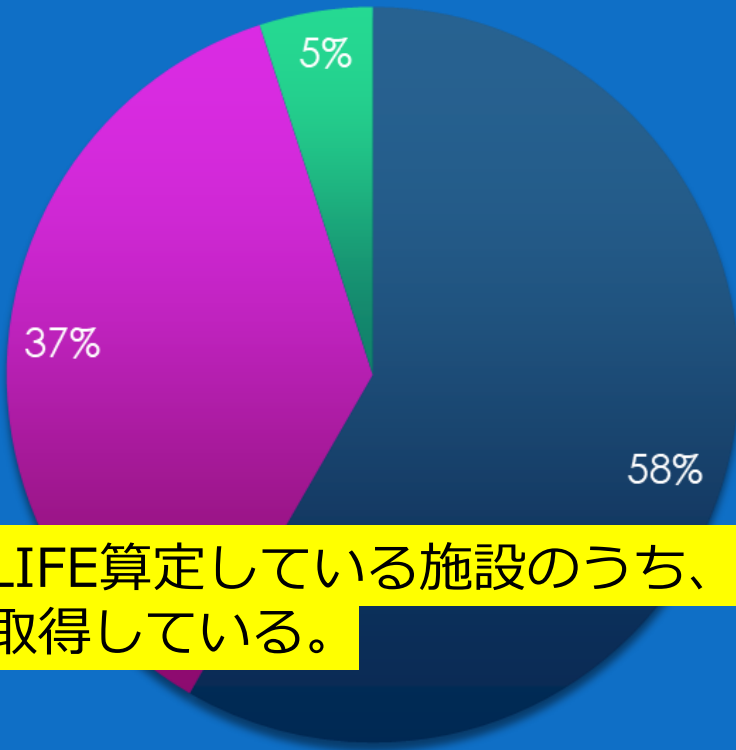
総作業人数	該当施設数	作業の最短時間
1	10	30分未満
2	3	1時間未満
3	5	2時間
4	4	2時間
5	1	5時間以上
6	2	4時間30分以上
10	1	9時間30分
12	1	14時間
5以上	11	2時間30分以上
6以上	3	10時間30分以上
7以上	2	6時間以上
15以上	4	9時間以上

- ・作業を1名で完結させている施設が全体の約2割。
- ・一方で後述する質問5（スライド50）「労力削減の工夫」で「作業を分担している」施設が約9割。
- ・作業人数について、「リハビリ計画書を作成している人員数」と「LIFEへ登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と設問の解釈が分かれたのではないかと指摘されている。
- ・「リハビリテーションマネジメント計画書情報加算は一連の作業を1名にしている」という可能性もあるが、現実的か疑わしい。
- ・総作業人数ごとに作業時間の比較を試みたが、設問の解釈が統一されないと見当違いなこととなる。
- ・参考までに一連の作業について、最短で行えている時間数を掲載する。

【褥瘡マネジメント加算】について

①取得していますか？

取得している 35施設
取得していない 22施設
未回答 3施設

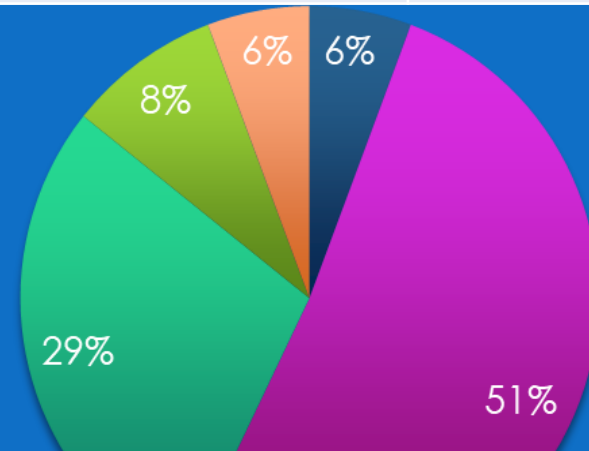


⇒LIFE算定している施設のうち、58%以上が取得している。

■ 取得している ■ 取得していない ■ 未回答

②入力する内容について、詳しい職種への確認や共同作業の手間について教えてください。

非常に手間	2
まあまあ手間	18
標準的	10
あまり手間ではない	3
手間ではない	2

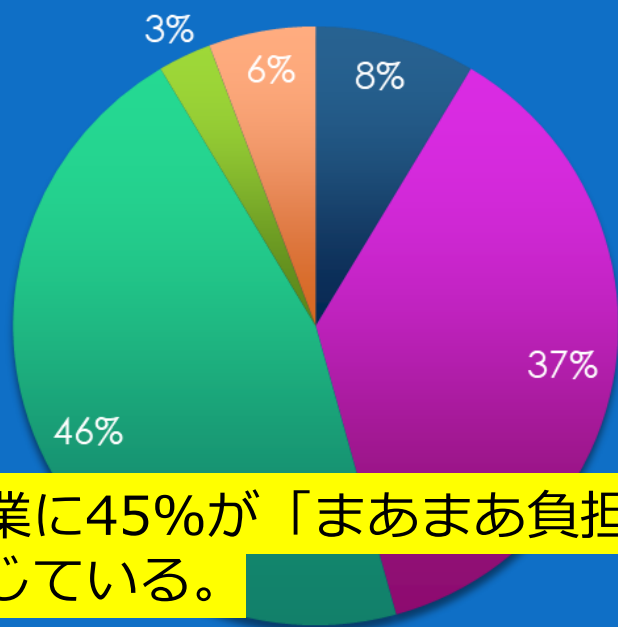


⇒入力内容の確認や作業で57%の施設が「まあまあ手間～非常に手間」と感じている。

■ 非常に手間 ■ まあまあ手間 ■ 標準的
■ あまり手間ではない ■ 手間ではない

③入力作業の負担感の大きさについて教えてください。

	非常に負担	3
	まあまあ負担	13
	標準的	16
	あまり負担ではない	1
	負担ではない	2

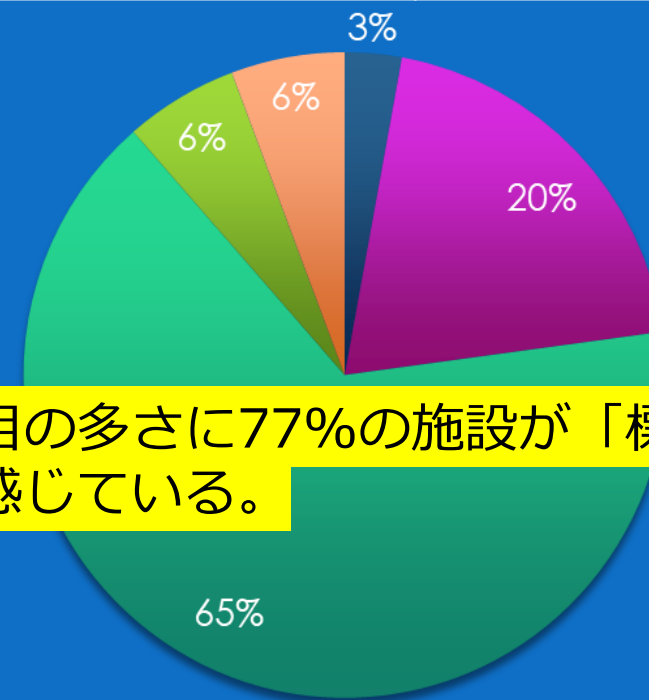


⇒入力作業に45%が「まあまあ負担～非常に負担」と感じている。

■非常に負担 ■まあまあ負担 ■標準的
■あまり負担ではない ■負担ではない

④入力項目の多さについて教えてください。

	非常に多い	1
	まあまあ多い	7
	標準的	23
	あまり多くない	2
	多くない	2

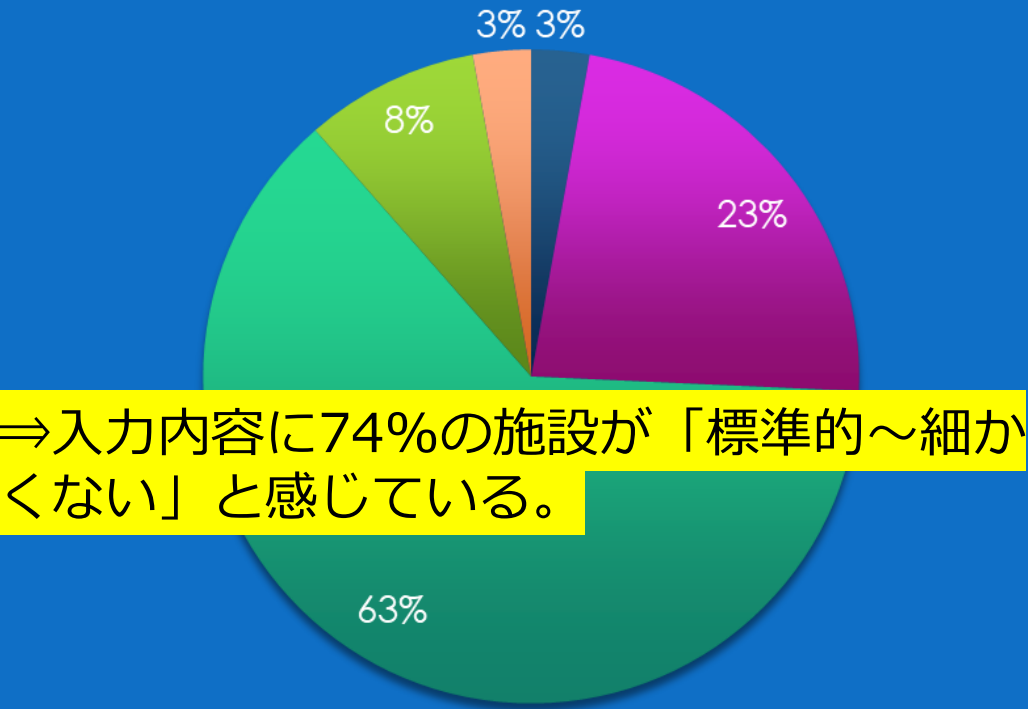


⇒入力項目の多さに77%の施設が「標準的～多くない」と感じている。

■非常に多い ■まあまあ多い ■標準的
■あまり多くない ■多くない

⑤入力項目の**内容の細かさ**について教えてください。

非常に細かい	1
まあまあ細かい	8
標準的	22
あまり細かくない	3
細かくない	1

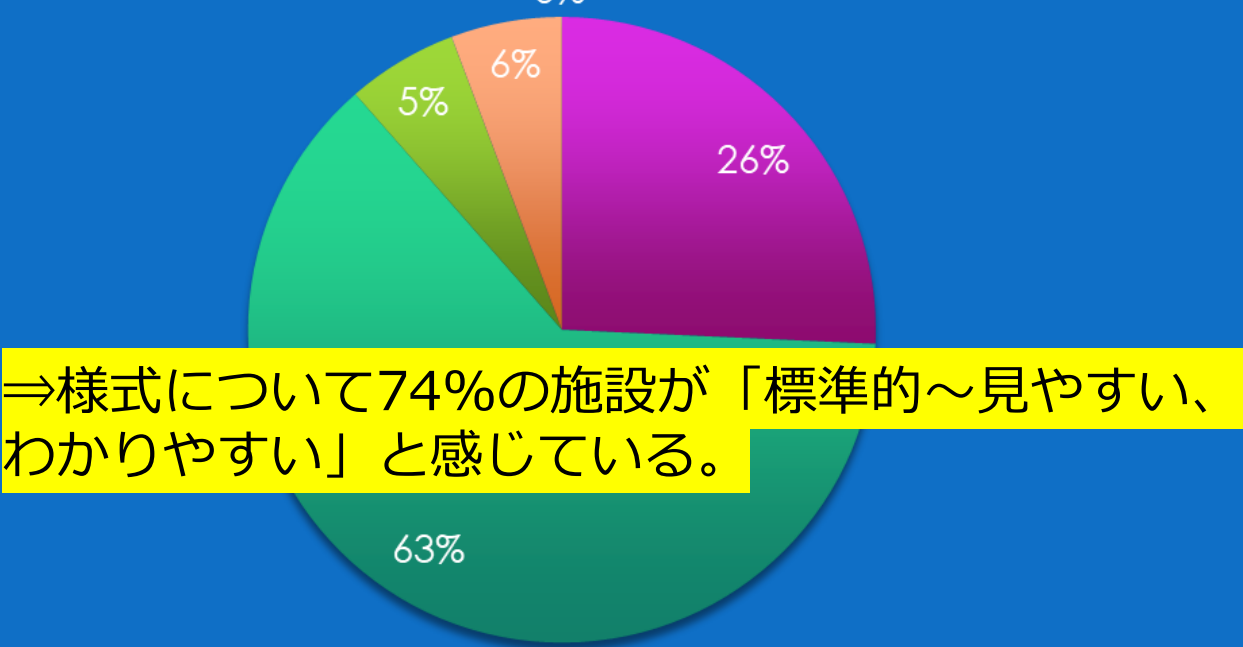


⇒入力内容に74%の施設が「標準的～細かくない」と感じている。

- 非常に細かい
- まあまあ細かい
- 標準的
- あまり細かくない
- 細かくない

⑥様式の**見にくさ、わかりにくさ**について教えてください。

非常に見にくい、わかりにくい	0
まあまあ見にくい、わかりにくい	9
標準的	22
まあまあ見やすい、わかりやすい	2
見やすい、わかりやすい	2



⇒様式について74%の施設が「標準的～見やすい、わかりやすい」と感じている。

- 非常に見にくい、わかりにくい
- まあまあ見にくい、わかりにくい
- 標準的
- まあまあ見やすい、わかりやすい
- 見やすい、わかりやすい

⑦**特に労力を有する入力項目**があれば具体的にどの項目か教えてください。

有りの場合の褥瘡評価や2頁目の貢目抜けの確認
更新毎の入力作業
項目の入力漏れの確認作業
危険因子の評価

⑧**職員のそれぞれの作業時間**について教えてください。

※作業時間とは「アセスメントからLIFEに登録・送付するまでの時間」とする。
・チェック箇所が複数でも可。

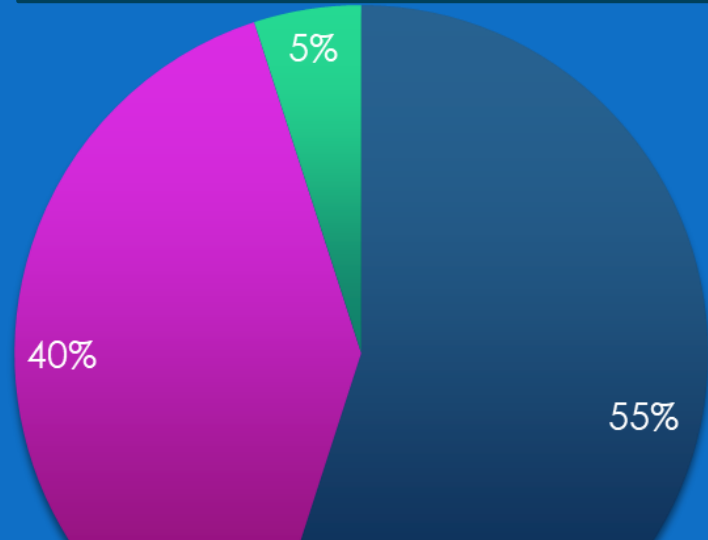
総作業人数	該当施設数	作業の最短時間
1	11	30分未満
2	4	30分未満
3	2	1時間未満
5	1	5時間
6	1	10時間30分
5以上	4	2時間30分
7以上	1	6時間
10以上	3	4時間
15以上	3	17時間30分

- ・作業を1名で完結させている施設が36.7%と高い。
- ・一方で後述する質問5（スライド50）「労力削減の工夫」で「作業を分担している」施設が約9割。
- ・作業人数について、「現場でアセスメントをする人員を含めた人員数」と「得られたアセスメント結果を登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と設問の解釈が分かれたのではないかな。
- ・「褥瘡マネジメント加算は一連の作業を1名にしている」という可能性もあるが、現実的か疑わしい。
- ・総作業人数ごとに作業時間の比較を試みたが、設問の解釈が統一されないと見当違いなこととなる。
- ・参考までに一連の作業について、最短で行えている時間数を掲載する。

【自立支援加算】について

①取得していますか？

- ▶ 取得している 33施設
- ▶ 取得していない 24施設
- ▶ 未回答 3施設

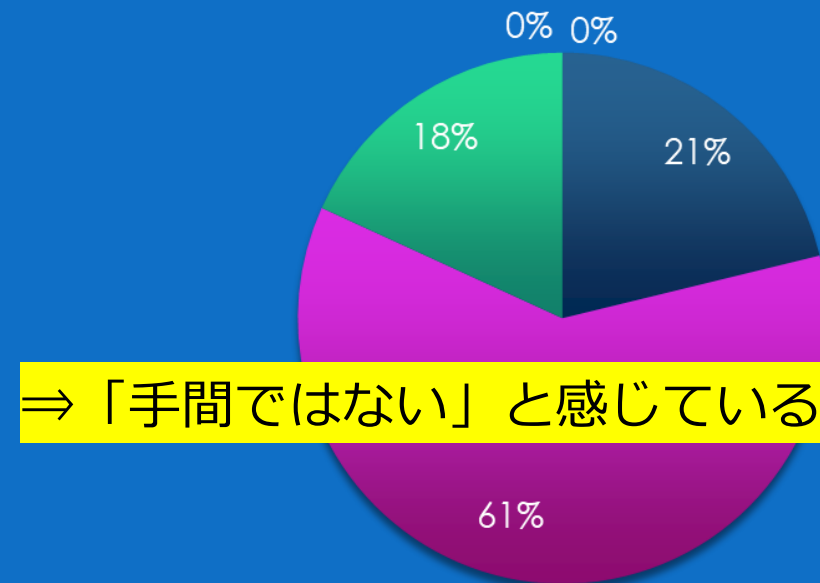


⇒LIFE算定している施設の内、55%以上が取得している。

■ 取得している ■ 取得していない ■ 未回答

②入力する内容について、詳しい職種への確認や共同作業の手間について教えてください。

非常に手間	7
まあまあ手間	20
標準的	6
あまり手間ではない	0
手間ではない	0

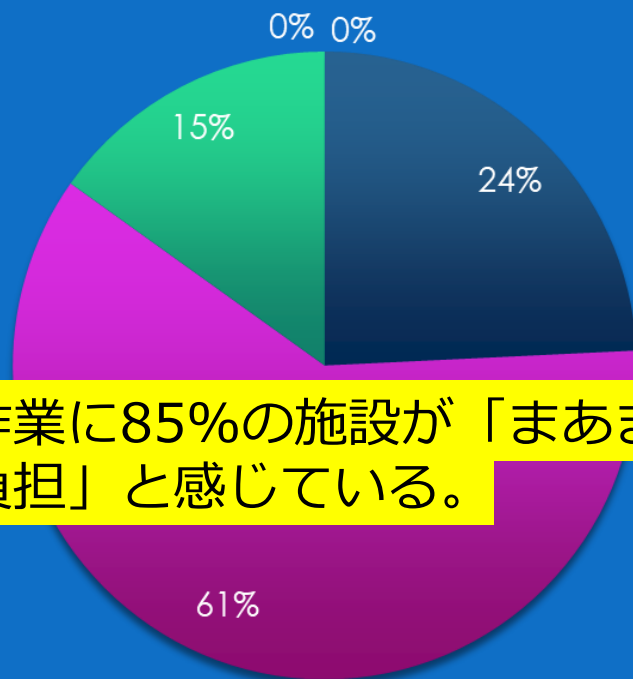


⇒「手間ではない」と感じているのは0%。

■ 非常に手間 ■ まあまあ手間 ■ 標準的
■ あまり手間ではない ■ 手間ではない

③入力作業の負担感の大きさについて教えてください。

非常に負担	8
まあまあ負担	20
標準的	5
あまり負担ではない	0
負担ではない	0

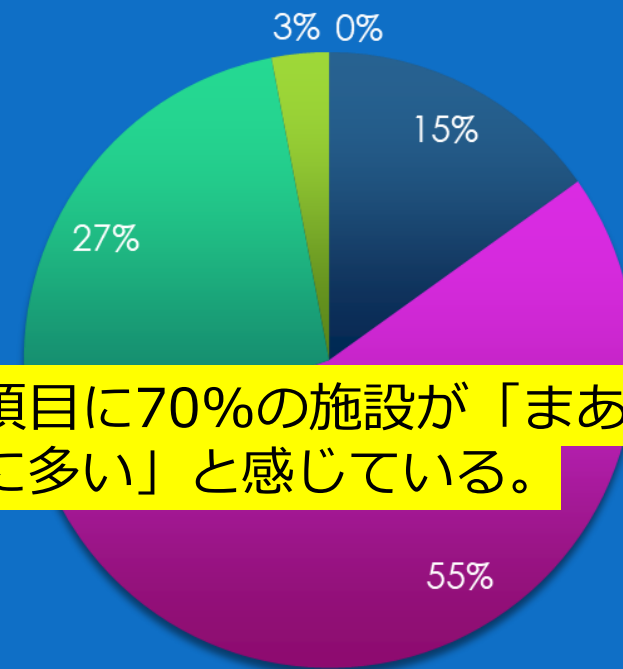


⇒入力作業に85%の施設が「まあまあ負担～非常に負担」と感じている。

■ 非常に負担 ■ まあまあ負担 ■ 標準的
■ あまり負担ではない ■ 負担ではない

④入力項目の多さについて教えてください。

非常に多い	5
まあまあ多い	18
標準的	9
あまり多くない	1
多くない	0

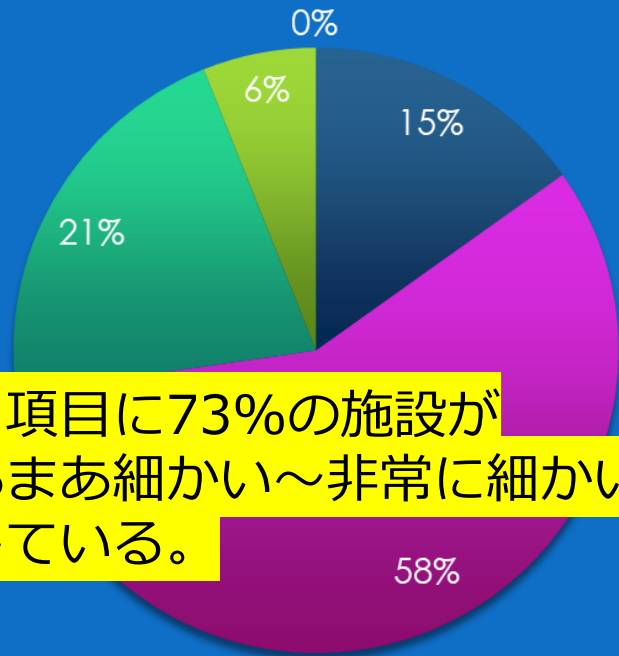


⇒入力項目に70%の施設が「まあまあ多い～非常に多い」と感じている。

■ 非常に多い ■ まあまあ多い ■ 標準的
■ あまり多くない ■ 多くない

⑤入力項目の**内容の細かさ**について教えてください。

非常に細かい	5
まあまあ細かい	19
標準的	7
あまり細かくない	2
細かくない	0

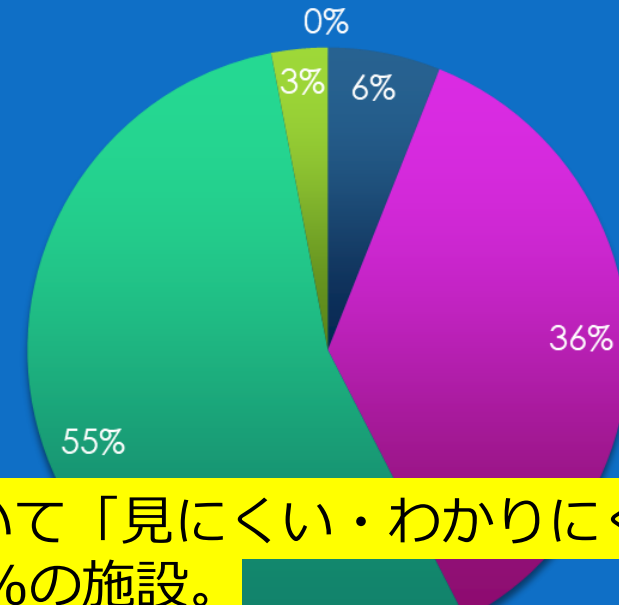


⇒入力項目に73%の施設が「まあまあ細かい～非常に細かい」と感じている。

■ 非常に細かい ■ まあまあ細かい ■ 標準的
■ あまり細かくない ■ 細かくない

⑥様式の**見にくさ、わかりにくさ**について教えてください。

非常に見にくい、わかりにくい	2
まあまあ見にくい、わかりにくい	12
標準的	18
まあまあ見やすい、わかりやすい	1
見やすい、わかりやすい	0



⇒様式について「見にくい・わかりにくい」と感じているのは42%の施設。最も多かったのは「標準的」で55%の施設。

■ 非常に見にくい、わかりにくい ■ まあまあ見にくい、わかりにくい
■ 標準的 ■ まあまあ見やすい、わかりやすい
■ 見やすい、わかりやすい

⑦特に労力を有する入力項目があれば具体的にどの項目か教えてください。

支援計画	3
基本動作	2
ICFステージング	2
生活機能低下の経過	
計画書の入力	
支援実績	
医師関連	
問題となる疾患の選択	
医療情報	

⇒「支援計画」、「基本動作」・「ICF」の順が多い。

自由記載の問にも関わらず、ある程度ご回答いただいた項目がまとまっており、共通してそのように感じている傾向がうかがえる。また取得施設の半数から回答が得られた。

⑧職員のそれぞれの作業時間について教えてください。

※作業時間とは「アセスメントからLIFEに登録・送付するまでの時間」とする。

・チェック箇所が複数でも可。

総作業人数	該当施設数	作業の最短時間
1	5	30分未満
2	1	1時間
3	6	1時間
4	1	1時間30分
5	1	2時間
8	1	9時間30分
5以上	6	2時間30分
6以上	2	7時間
10以上	1	15時間
11以上	1	7時間
15以上	3	10時間

- ・総作業人数は広範に分布する。
- ・作業を1名で完結させている施設は、設問を「LIFEへ登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と解釈した可能性が高い。
- ・作業人数について、「現場でアセスメントをする人員を含めた人員数」と「得られたアセスメント結果に登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と設問の解釈が分かれたのではないかと推察される。
- ・総作業人数ごとに作業時間の比較を試みたが、設問の解釈が統一されないと思当違いなこととなる。
- ・参考までに一連の作業について、最短で行えている時間数を掲載する。

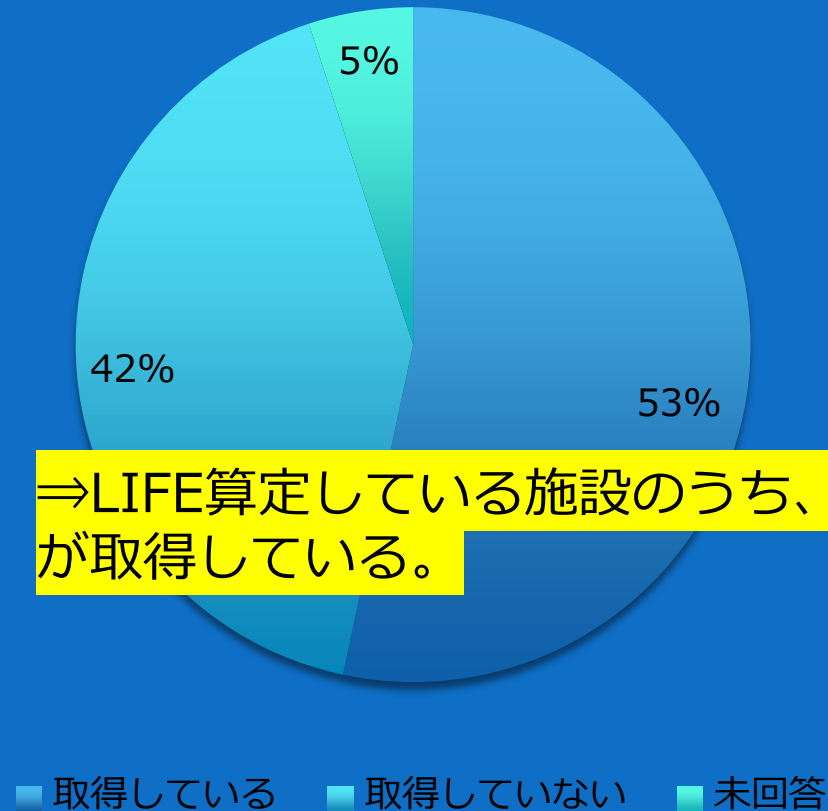
⇒総作業人数は一施設当たり5未満と5名以上がおおよそ半数ずつ。

約半数の施設は作業人数1名あたり、月1時間以上の作業時間を要すると算出された。

【排泄支援加算】について

①取得していますか？

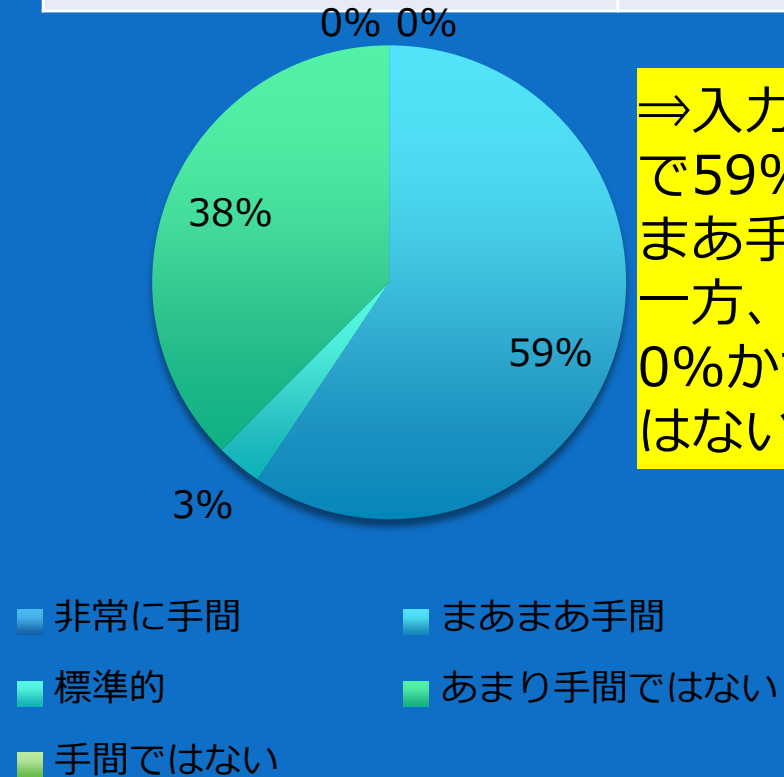
取得している 32施設
取得していない 25施設
未回答 3施設



⇒LIFE算定している施設のうち、53%以上が取得している。

②入力する内容について、詳しい職種への確認や共同作業の手間について教えてください。

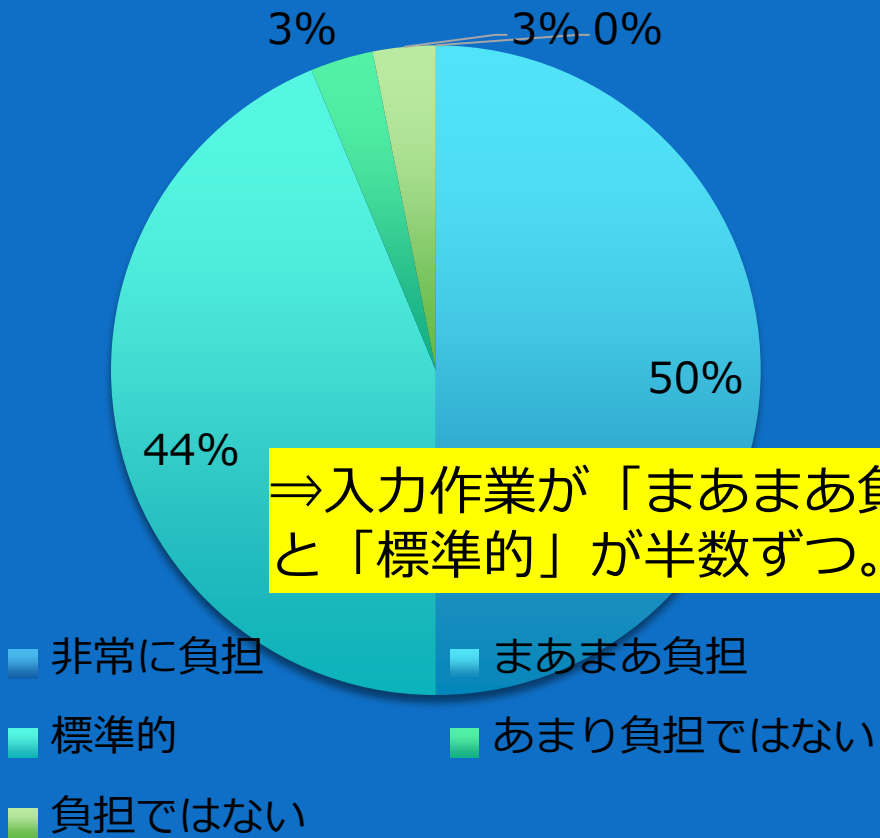
非常に手間	0
まあまあ手間	19
標準的	1
あまり手間ではない	12
手間ではない	0



⇒入力内容の確認や作業で59%の施設が「まあまあ手間」と感じている一方、「非常に手間」は0%かつ「あまり手間ではない」が38%。

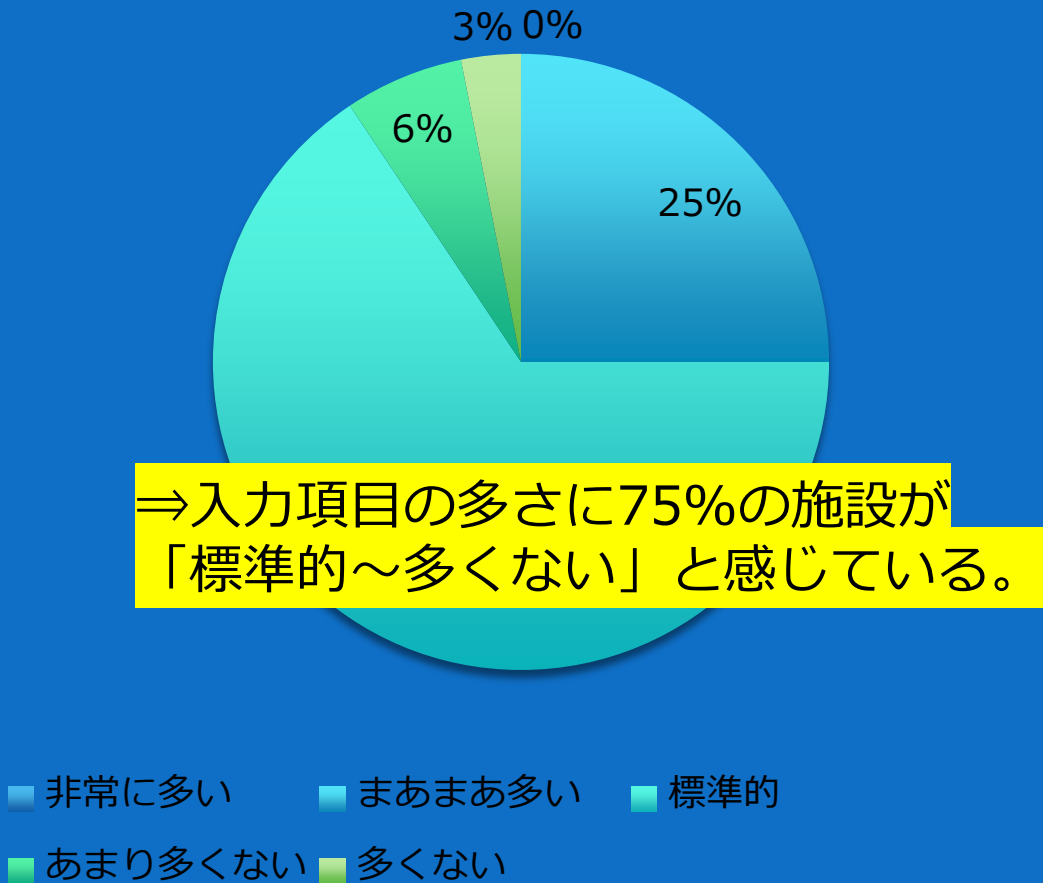
③入力作業の負担感の大きさについて教えてください。

非常に負担	0
まあまあ負担	16
標準的	14
あまり負担ではない	1
負担ではない	1



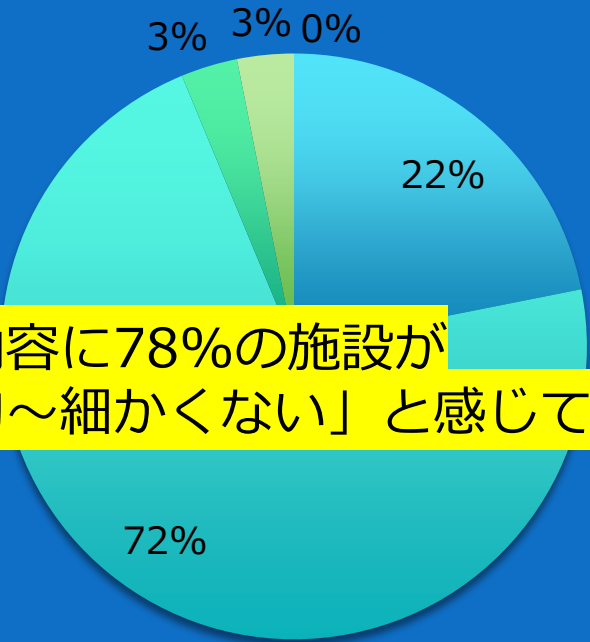
④入力項目の多さについて教えてください。

非常に多い	0
まあまあ多い	8
標準的	21
あまり多くない	2
多くない	1



⑤入力項目の**内容の細かさ**について教えてください。

非常に細かい	0
まあまあ細かい	7
標準的	23
あまり細かいくない	1
細かいくない	1

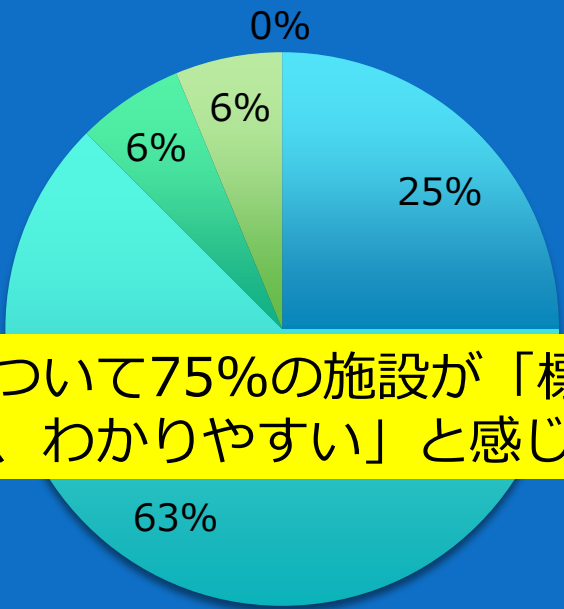


⇒入力内容に78%の施設が「標準的～細かいくない」と感じている。

- 非常に細かい
- まあまあ細かい
- 標準的
- あまり細かいくない
- 細かいくない

⑥様式の**見にくさ、わかりにくさ**について教えてください。

非常に見にくい、わかりにくい	0
まあまあ見にくい、わかりにくい	8
標準的	20
まあまあ見やすい、わかりやすい	2
見やすい、わかりやすい	2



⇒様式について75%の施設が「標準的～見やすい、わかりやすい」と感じている。

- 非常に見にくい、わかりにくい
- まあまあ見にくい、わかりにくい
- 標準的
- まあまあ見やすい、わかりやすい
- 見やすい、わかりやすい

⑦特に労力を有する入力項目があれば具体的にどの項目か教えてください。

更新毎の入力作業

支援計画

⑧職員のそれぞれの作業時間について教えてください。

※作業時間とは「アセスメントからLIFEに登録・送付するまでの時間」とする。

・チェック箇所が複数でも可。

総作業人員数	該当施設数	最短の作業時間
1	8	30分
3	5	1時間
4	3	2時間
5以上	4	2時間30分
6以上	1	10時間30分
10以上	3	4時間
15以上	3	13時間30分

⇒総作業人数は1～3名が約半数。

総作業人数と総作業時間は比例する傾向にあるが、総作業人員数が5～10名で総作業時間が留められている施設も散見される。

・作業を1名で完結させている施設は、設問を「LIFEへ登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と解釈した可能性が高い。

・作業人数について、「現場でアセスメントをする人員を含めた人員数」と「得られたアセスメント結果を登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と設問の解釈が分かれたのではないかと見られる。

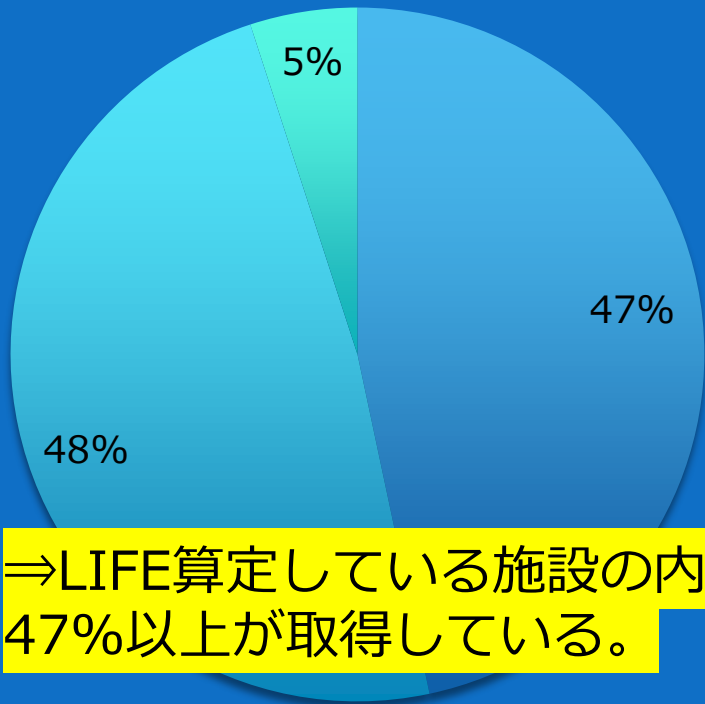
・総作業人数ごとに作業時間の比較を試みたが、設問の解釈が統一されないと見当違いなこととなる。

・参考までに一連の作業について、最短で行えている時間数を掲載する。

【栄養マネジメント強化加算】について

①取得していますか？

取得している 28施設
取得していない 29施設
未回答 3施設

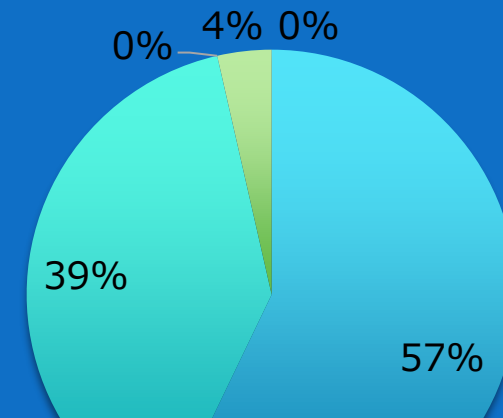


⇒LIFE算定している施設の内、47%以上が取得している。

■ 取得している ■ 取得していない ■ 未回答

②入力する内容について、詳しい職種への確認や共同作業の手間について教えてください。

非常に手間	0
まあまあ手間	16
標準的	11
あまり手間ではない	0
手間ではない	1

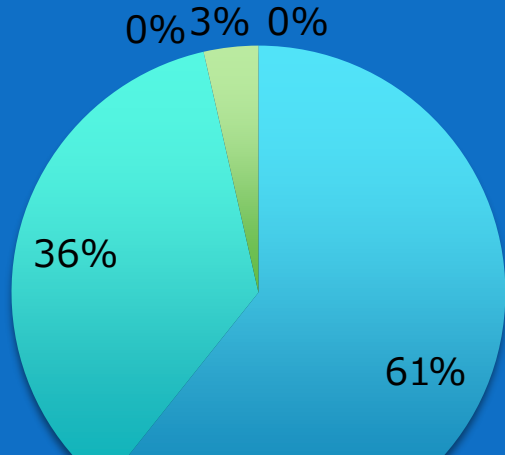


⇒入力内容の確認や作業に57%の施設が「まあまあ手間」と感じている。

■ 非常に手間 ■ まあまあ手間 ■ 標準的
■ あまり手間ではない ■ 手間ではない

③入力作業の負担感の大きさについて教えてください。

非常に負担	0
まあまあ負担	17
標準的	10
あまり負担ではない	0
負担ではない	1

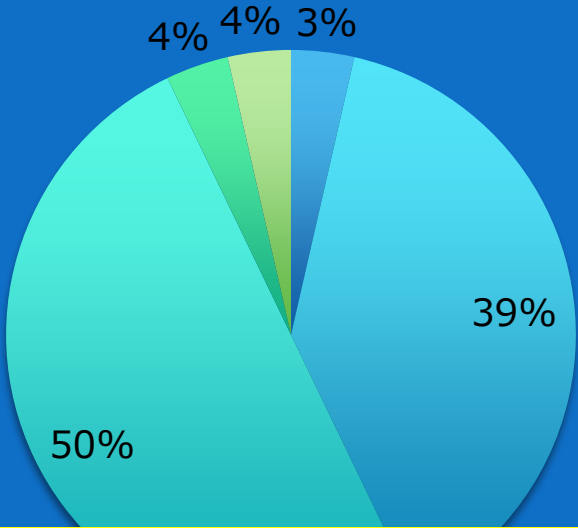


⇒入力作業に61%の施設が「まあまあ負担」と感じている。

- 非常に負担
- まあまあ負担
- 標準的
- あまり負担ではない
- 負担ではない

④入力項目の多さについて教えてください。

非常に多い	1
まあまあ多い	11
標準的	14
あまり多くない	1
多くない	1

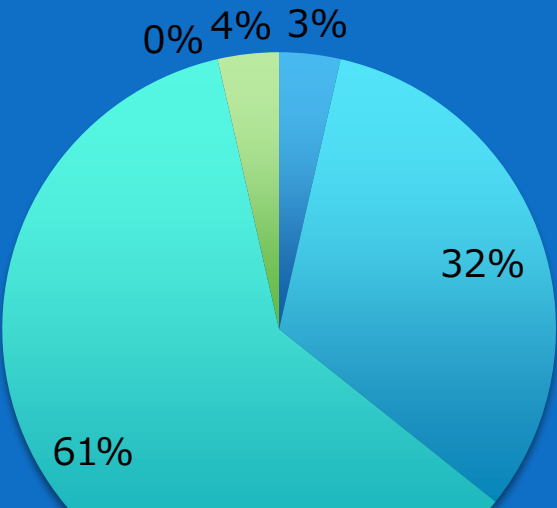


⇒入力項目の多さは50%の施設が「標準的」と感じている。

- 非常に多い
- まあまあ多い
- 標準的
- あまり多くない
- 多くない

⑤入力項目の**内容の細かさ**について教えてください。

非常に細かい	1
まあまあ細かい	9
標準的	17
あまり細かいくない	0
細かいくない	1

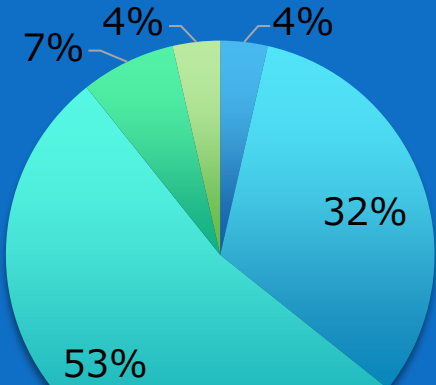


⇒入力内容に65%の施設が「標準的～細かい」と感じている。

- 非常に細かい
- まあまあ細かい
- 標準的
- あまり細かいくない
- 細かいくない

⑥様式の**見にくさ、わかりにくさ**について教えてください。

非常に見にくい、わかりにくい	1
まあまあ見にくい、わかりにくい	9
標準的	15
まあまあ見やすい、わかりやすい	2
見やすい、わかりやすい	1



⇒様式について65%の施設が「標準的～見やすい、わかりやすい」と感じている。

- 非常に見にくい、わかりにくい
- まあまあ見にくい、わかりにくい
- 標準的
- まあまあ見やすい、わかりやすい
- 見やすい、わかりやすい

⑦特に労力を有する入力項目があれば具体的にどの項目か教えてください。

栄養摂取量の計算、利用者様の状態の把握、更新毎の入力作業

⑧職員のそれぞれの作業時間について教えてください。

※作業時間とは「アセスメントからLIFEに登録・送付するまでの時間」とする。

・チェック箇所が複数でも可。

総作業人員数	該当施設数	最短の作業時間
1	5	30分
2	1	4時間
3	6	1時間
4	1	3時間30分
5	1	3時間30分
8	1	5時間
5以上	6	2時間
6以上	2	10時間30分
10以上	1	4時間
11以上	1	7時間
15以上	3	12時間30分

⇒総作業人数は4名以下と5名以上が半数ずつ。
およそ半数の施設が1人あたり1時間を下回る作業時間
と算出される。

・作業を1名で完結させている施設は、設問を「LIFEへ登録
するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と
解釈した可能性が高い。作業人数について、「現場でアセス
メントをする人員を含めた人員数」と「得られたアセスメン
ト結果を登録するところからの人員数」や「送信作業をする
人員数」等と設問の解釈が分かれたのではないかと推察する。

・総作業人数ごとに作業時間の比較を試みたが、設問の解釈
が統一されないと見当違いなこととなる。

・参考までに一連の作業について、最短で行えている時間数
を掲載する。

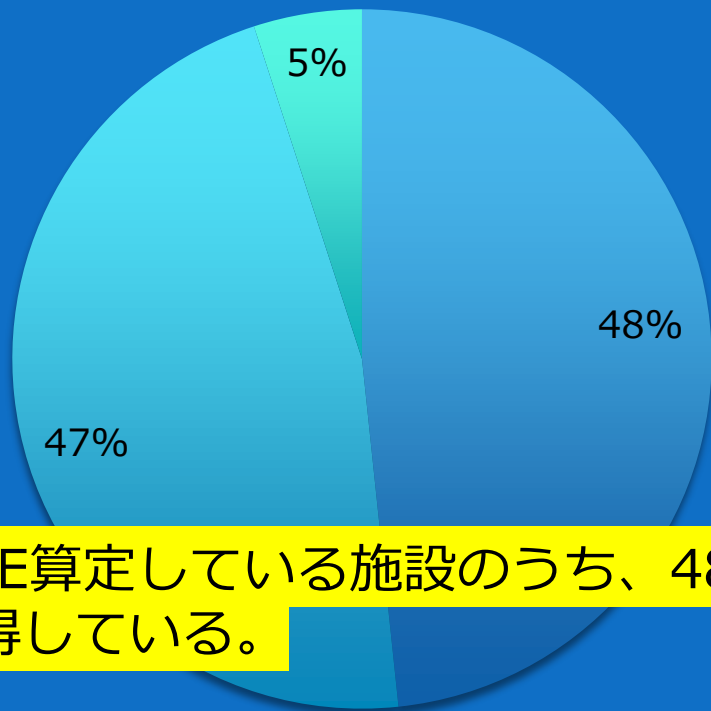
【口腔衛生管理加算】について

①取得していますか？

取得している 29施設

取得していない 28施設

未回答 3施設

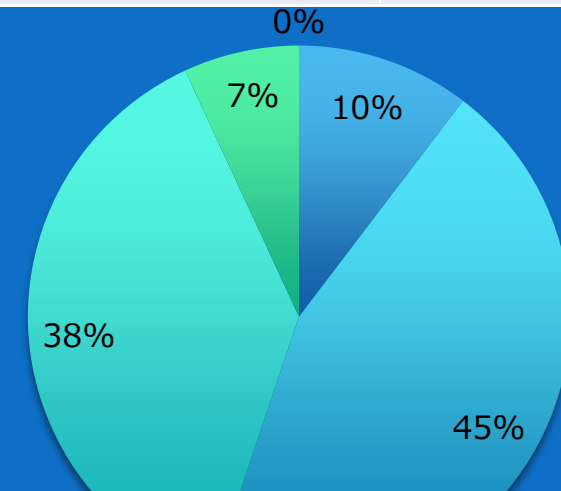


⇒LIFE算定している施設のうち、48%以上が取得している。

■ 取得している ■ 取得していない ■ 未回答

②入力する内容について、詳しい職種への確認や共同作業の手間について教えてください。

非常に手間	3
まあまあ手間	13
標準的	11
あまり手間ではない	2
手間ではない	0

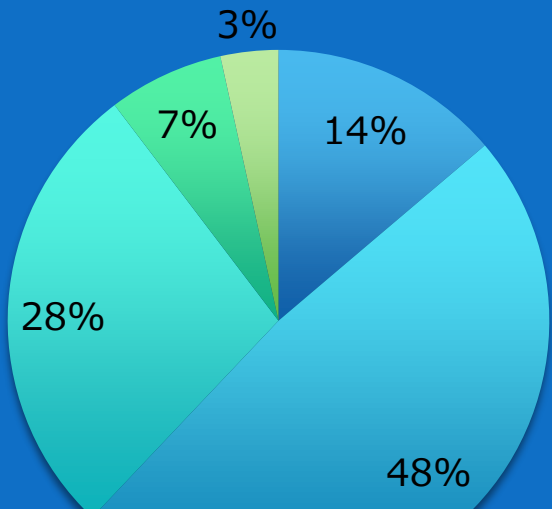


⇒入力内容の確認や作業に55%の施設が「まあまあ手間～非常に手間」と感じている。

■ 非常に手間 ■ まあまあ手間 ■ 標準的
■ あまり手間ではない ■ 手間ではない

③入力作業の負担感の大きさについて教えてください。

非常に負担	4
まあまあ負担	14
標準的	8
あまり負担ではない	2
負担ではない	1

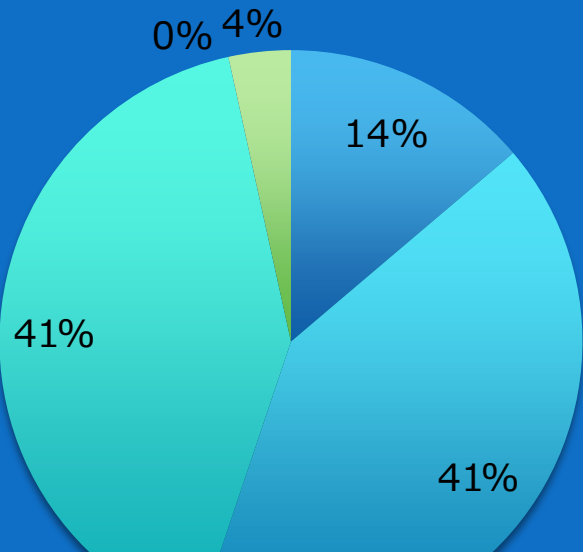


⇒入力作業に62%の施設が「まあまあ負担～非常に負担」と感じている。

- 非常に負担
- まあまあ負担
- 標準的
- あまり負担ではない
- 負担ではない

④入力項目の多さについて教えてください。

非常に多い	4
まあまあ多い	12
標準的	12
あまり多くない	0
多くない	1

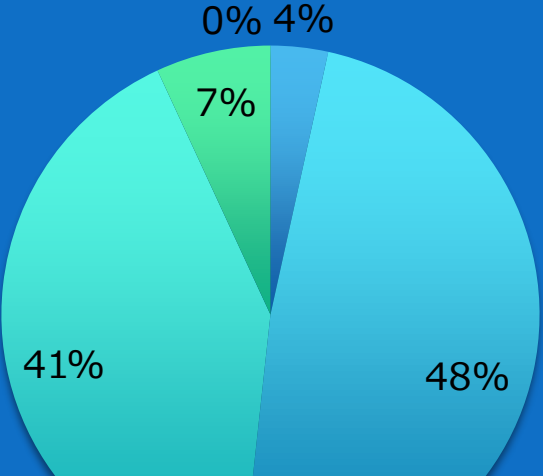


⇒入力項目の多さは55%の施設が「まあまあ多い～非常に多い」と感じている。

- 非常に多い
- まあまあ多い
- 標準的
- あまり多くない
- 多くない

⑤入力項目の**内容の細かさ**について教えてください。

非常に細かい	1
まあまあ細かい	14
標準的	12
あまり細かいくない	2
細かいくない	0

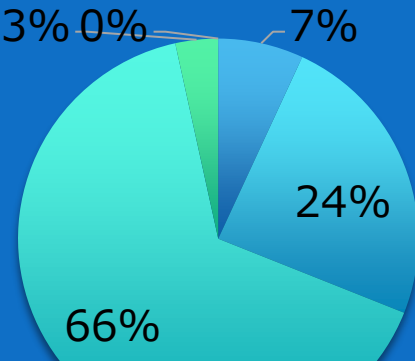


⇒入力内容に52%の施設が「まあまあ細かい～非常に細かい」と感じている。

- 非常に細かい
- まあまあ細かい
- 標準的
- あまり細かいくない
- 細かいくない

⑥**様式の見にくさ、わかりにくさ**について教えてください。

非常に見にくい、わかりにくい	2
まあまあ見にくい、わかりにくい	7
標準的	19
まあまあ見やすい、わかりやすい	1
見やすい、わかりやすい	0



⇒様式について66%の施設が「標準的」と感じている

- 非常に見にくい、わかりにくい
- まあまあ見にくい、わかりにくい
- 標準的
- まあまあ見やすい、わかりやすい
- 見やすい、わかりやすい

⑦特に労力を有する入力項目があれば具体的にどの項目か教えてください。

歯科医師との連携

「その他の事項欄」の記入行数を増やして欲しい

口腔衛生管理情報を入力する際、基本情報の部分と口腔の健康状態の評価、再評価をまとめてスクロールできる様にしてもらいたい。見えにくく、入力しにくい。

口腔の健康状態の評価

⑧職員の**それぞれの作業時間**について教えてください。
 ※作業時間とは「アセスメントからLIFEに登録・送付するまでの時間」とする。
 ・チェック箇所が複数でも可。

総作業人員数	該当施設数	最短の作業時間
1	13	30分
2	5	1時間
3	1	2時間
4	1	2時間
5	1	5時間30分
5以上	2	2時間30分
6以上	1	13時間
15以上	2	13時間30分

⇒総作業人数は1～2名が約7割。
 総作業人数が5名以上の場合、総作業時間は月5時間を超えやすい。

・作業を1名で完結させている施設は、設問を「LIFEへ登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と解釈した可能性が高い。作業人数について、「現場でアセスメントをする人員を含めた人員数」と「得られたアセスメント結果を登録するところからの人員数」や「送信作業をする人員数」等と設問の解釈が分かれたのではないか。

・総作業人数ごとに作業時間の比較を試みたが、設問の解釈が統一されないで見当違いなこととなる。

・参考までに一連の作業について、最短で行えている時間数を掲載する。

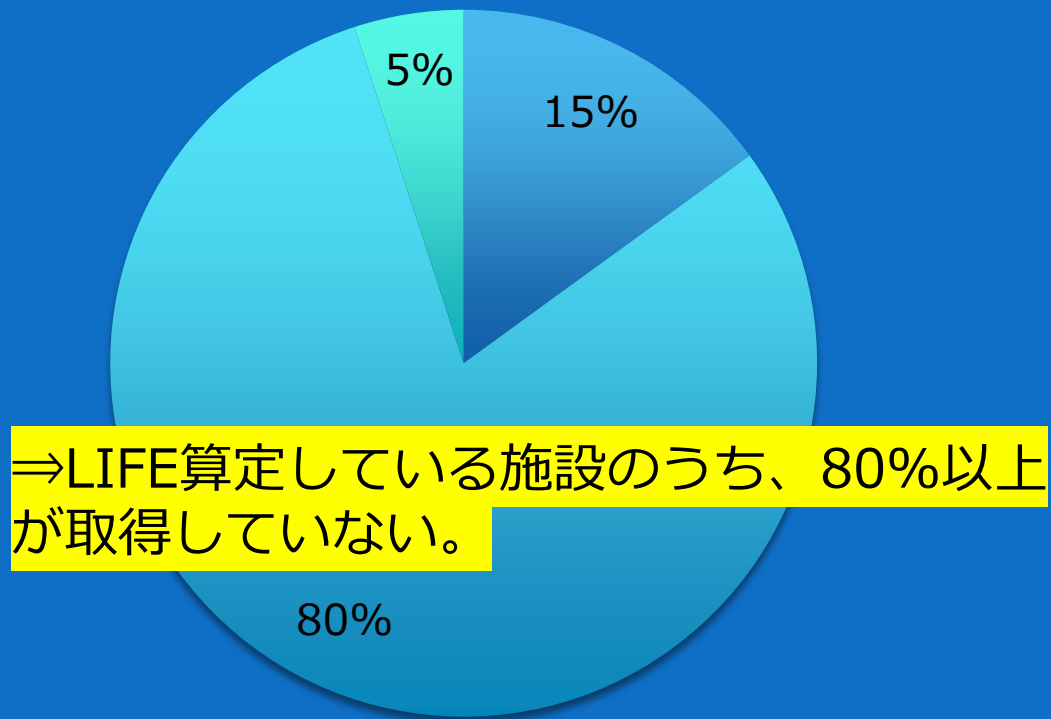
【かかりつけ医連携薬剤調整加算】について

①取得していますか？

取得している 9施設

取得していない 48施設

未回答 3施設

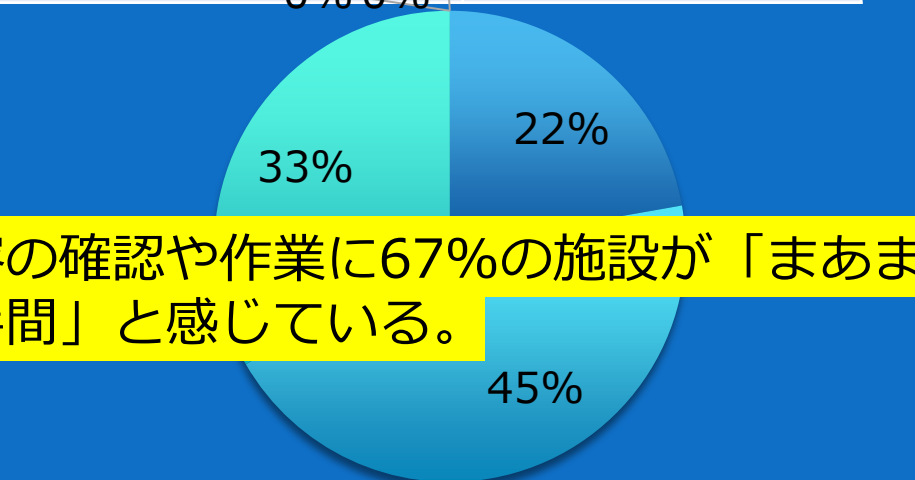


⇒LIFE算定している施設のうち、80%以上が取得していない。

②入力する内容について、詳しい職種への確認や共同作業の手間について教えてください。

非常に手間	2
まあまあ手間	4
標準的	3
あまり手間ではない	0
手間ではない	0

⇒入力内容の確認や作業に67%の施設が「まあまあ手間～非常に手間」と感じている。



非常に手間

まあまあ手間

標準的

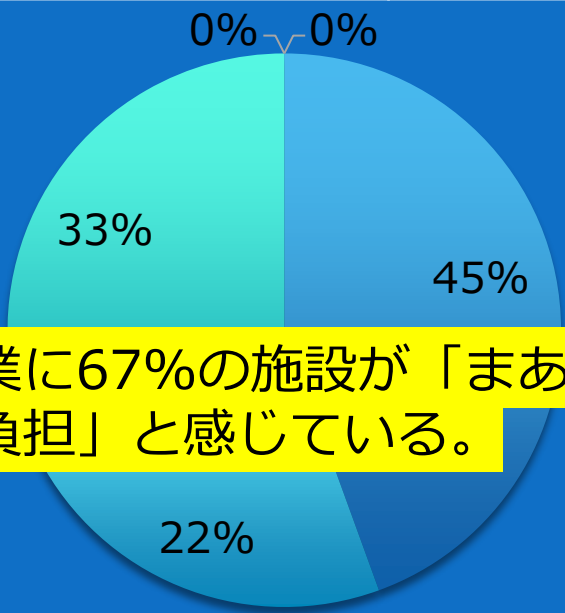
あまり手間ではない

手間ではない

取得している 取得していない 未回答

③入力作業の負担感の大きさについて教えてください。

非常に負担	4
まあまあ負担	2
標準的	3
あまり負担ではない	0
負担ではない	0

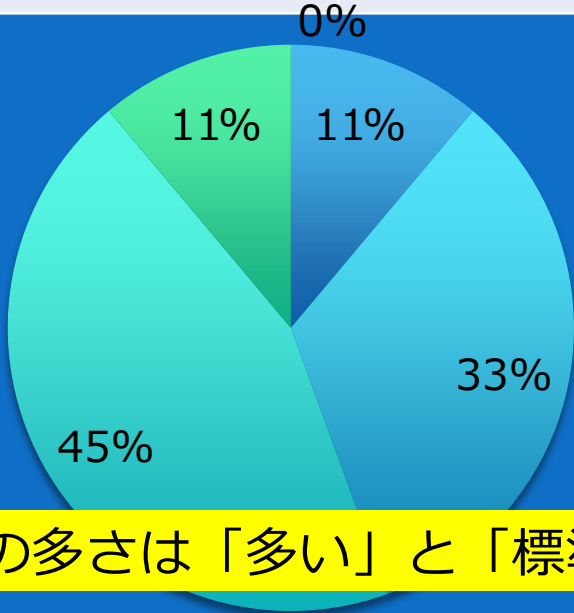


⇒入力作業に67%の施設が「まあまあ負担～非常に負担」と感じている。

- 非常に負担
- まあまあ負担
- 標準的
- あまり負担ではない
- 負担ではない

④入力項目の多さについて教えてください。

非常に多い	1
まあまあ多い	3
標準的	4
あまり多くない	1
多くない	0

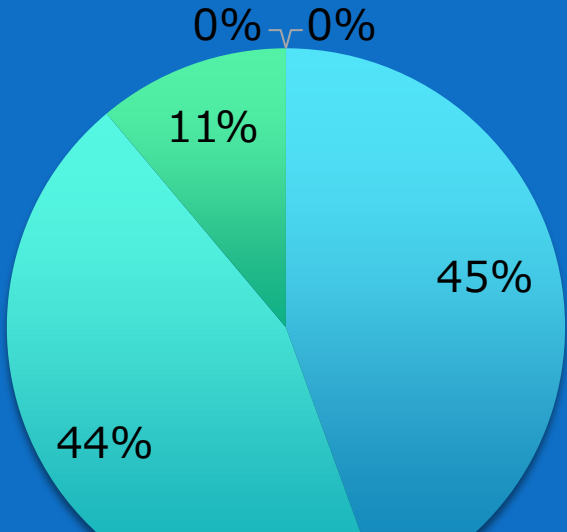


⇒入力項目の多さは「多い」と「標準的」が半数ずつ。

- 非常に多い
- まあまあ多い
- 標準的
- あまり多くない
- 多くない

⑤入力項目の**内容の細かさ**について教えてください。

非常に細かい	0
まあまあ細かい	4
標準的	4
あまり細かいくない	1
細かいくない	0

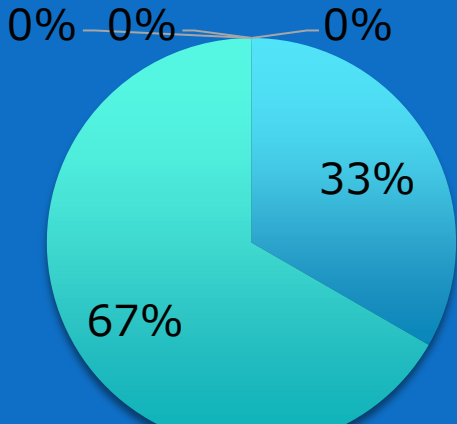


⇒入力内容が「まあまあ細かい」と「標準的」が半数ずつ。

- 非常に細かい
- まあまあ細かい
- 標準的
- あまり細かいくない
- 細かいくない

⑥**様式の見にくさ、わかりにくさ**について教えてください。

非常に見にくい、わかりにくい	0
まあまあ見にくい、わかりにくい	3
標準的	6
まあまあ見やすい、わかりやすい	0
見やすい、わかりやすい	0



⇒様式について67%の施設が「標準的」と感じている。

- 非常に見にくい、わかりにくい
- まあまあ見にくい、わかりにくい
- 標準的
- まあまあ見やすい、わかりやすい
- 見やすい、わかりやすい

⑦特に労力を有する入力項目があれば具体的にどの項目か教えてください。

服薬情報

⑧職員のそれぞれの作業時間について教えてください。

※作業時間とは「アセスメントからLIFEに登録・送付するまでの時間」とする。

・チェック箇所が複数でも可。

総作業人員数	該当施設数	最短の作業時間
1	1	30分
2	1	1時間
3	1	1時間30分
4	2	1時間30分
5以上	2	2時間
15以上	1	27時間

⇒母数が少ないが、一人あたり月30分程度の作業時間の施設がほとんど。

質問5. LIFE加算取得における、労力を削減するために、貴施設で工夫していることを教えてください。（複数回答可）

選択肢	選択数	選択数/回答のあった LIFE取得施設数
LIFE委員会を発足している	7	13.2%
入力項目を職種毎に決めている	45	84.9%
役職や職種にこだわらず、入力できる職員から作業を進めている	18	34.0%
アセスメント・入力・送信といった作業を分担している。	48	90.6%
アセスメント・入力・送信といった作業を同一者が完結して行っている	6	11.3%
紙ベースに整理してから、一気にデータ入力を行う	8	15.1%
その他...	2	3.8%
・ 管理栄養士2名配置・歯科衛生士配置など専門職に頼る。 ・ 分担して作業をしなければ進みませんので、根本的な労力削減になっ ていると思いません。		

⇒大多数の施設が取得までの工程を職種で区切って分担しているであろうことが推測される。

質問6. LIFEの加算取得の労力が、対価に見合っていると思いますか？

選択肢	選択数	選択数/LIFE取得施設数
対価が見合っていない	15	26.3%
あまり見合っていない	32	56.1%
それなり、標準的	8	14.0%
まあまあ見合っている	1	1.8%
対価が見合っている	1	1.8%

⇒8割強の施設が対価と労力が見合っていないと感じている。

質問7. (LIFE取得施設へ) 道老健協LIFE活用支援委員会への要望や、期待することを教えてください。

フィードバックデータの活用方法について

フィードバックの活用方法について指南して欲しい

フィードバック活用の実践例を知りたい。

フィードバックの比較対照が地域以外にも超強化型や在宅強化型とも比較できるようにして欲しい。

フィードバックデータの『見方』ではなく、『活用方法』を『具体的』に説明してほしい。データを集計するのは良いが、入居者の予後予測の役に立たない。労力に対するリターンが少なすぎる。

入力作業の簡略化を検討してほしいです。

入力作業の簡略化をお願いしたい。

重複している薬剤や日付などの項目、記入日内の用紙ももっと入力項目の整理、削減をお願いしたいです。

入力項目の削減

LIFEを始めたことでLIFEに携わる職員の拘束時間が長くなっている。通常業務に加えてLIFE業務が増え、業務過多となっている。業務の効率化を図るLIFEの目的と矛盾している。

書類は必要。利用者への関りも厚く、は両立するのは非常に難しいと思う。本末転倒な感じがしてしまいます。一部の職員への負担はかなり強いのが実状だと思います。

LIFEの負担軽減や廃止の検討

LIFEで必要となる情報の提供は惜しまず行っていくので、報酬が上がることを期待したい

質問8. (LIFE未取得施設へ) LIFE加算で取得したいと思う加算はありますか？ (複数回答可)

なし	0
科学的介護推進加算 (Ⅰ) (Ⅱ)	3
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	3
褥瘡マネジメント加算 (Ⅰ) (Ⅱ)	3
自立支援促進加算	1
排泄支援加算 (Ⅰ) (Ⅱ) (Ⅲ)	3
栄養マネジメント強化加算	2
口腔衛生管理加算 (Ⅱ)	2
かかりつけ医連携薬剤調整加算	1

質問9. (LIFE未取得施設へ) LIFE加算を取得するための課題は何だと感じますか？ (複数回答可)

選択肢	選択数
何をどのように進めて良いのかわからない	0
LIFEをデータ化し、吐き出しできる介護ソフト（電子カルテ）を導入していない	0
LIFEをデータ化し、吐き出しできる介護ソフト（電子カルテ）を導入しているが、活用できていない	1
加算の取得と、労力の対価と見合っていないと思う	3
その他...	3
・老健としての在宅支援機能の基盤を整備した上でLIFEの始動を目指したい ・予算の関係 ・その他型では算定出来ないこと	

質問10. (LIFE未取得施設へ)
道老健協LIFE活用支援委員会への要望や、期待することを教えてください。

LIFEを活用した実績がないため全くの全くの未知な領域であるため、始動の際はご助言を頂きたいです。

3. 考察①

加算取得に係る負担感と「アセスメントの手間」・「入力作業の負担感」・
「項目の多さ」・「内容の細かさ」・「様式」の関係性について

前のLIFE各加算に対する設問を項目ごとに点数化し、平均値・中央値を算出し
順位付けをして比較する。点数は、最もネガティブな回答を1点、最もポジ
ティブな回答を5点とし、一施設からの回答を1～5点で採点する。

例) <科学的介護推進加算>

○詳しい職種への確認や共同作業

非常に手間 → 1点

まあまあ手間 → 2点

標準的 → 3点

あまり手間でない → 4点

手間ではない → 5点

順位が高いほど、また平均値と中央値は低いほど負担の要因として大きい
と言える。

＜科学的介護推進加算＞

順位	項目	平均値	中央値
1	入力作業の負担感の大きさ	2.13	2
2	入力項目の多さ	2.15	2
3	詳しい職種への確認や共同作業の手間	2.17	2
4	入力項目の内容の細かさ	2.49	2
5	様式の見にくさ、わかりにくさ	2.77	3

＜リハビリテーションマネジメント計画書情報＞

順位	項目	平均値	中央値
1	入力項目の多さ	2.24	2
2	入力項目の内容の細かさ	2.33	3
3	様式の見にくさ、わかりにくさ	2.41	2
4	入力作業の負担感の大きさ	2.47	2
5	詳しい職種への確認や共同作業の手間	2.51	2

＜褥瘡マネジメント加算＞

順位	項目	平均値	中央値
1	詳しい職種への確認や共同作業の手間	2.57	2
2	入力作業の負担感の大きさ	2.60	3
3	入力項目の内容の細かさ	2.86	3
4	入力項目の多さ	2.91	3
4	様式の見にくさ、わかりにくさ	2.91	3

＜自立支援促進加算＞

順位	項目	平均値	中央値
1	入力作業の負担感の大きさ	1.91	2
2	詳しい職種への確認や共同作業の手間	1.97	2
3	入力項目の多さ	2.18	2
3	入力項目の内容の細かさ	2.18	2
5	様式の見にくさ、わかりにくさ	2.64	3

<排泄支援加算>

順位	項目	平均値	中央値
1	詳しい職種への確認や共同作業の手間	2.47	2
2	入力作業の負担感の大きさ	2.59	3
3	入力項目の多さ	2.88	3
3	入力項目の内容の細かさ	2.88	3
5	様式の見にくさ、わかりにくさ	2.94	3

<口腔衛生管理加算>

順位	項目	平均値	中央値
1	入力作業の負担感の大きさ	2.24	2
2	入力項目の多さ	2.38	2
3	詳しい職種への確認や共同作業の手間	2.41	2
4	入力項目の内容の細かさ	2.52	2
5	様式の見にくさ、わかりにくさ	2.66	3

<栄養マネジメント強化加算算>

順位	項目	平均値	中央値
1	入力作業の負担感の大きさ	2.46	2
2	詳しい職種への確認や共同作業の手間	2.50	2
3	入力項目の多さ	2.64	3
4	入力項目の内容の細かさ	2.68	3
5	様式の見にくさ、わかりにくさ	2.75	3

<かかりつけ医連携薬剤調整加算>

順位	項目	平均値	中央値
1	詳しい職種への確認や共同作業の手間	2.11	2
1	入力作業の負担感の大きさ	2.11	2
3	入力項目の多さ	2.56	3
4	入力項目の内容の細かさ	2.67	3
4	様式の見にくさ、わかりにくさ	2.67	3

⇒LIFE加算取得に係る負担感について、アンケートで設けた項目では総合的に

1. 入力作業の負担感
2. 詳しい職種への確認や共同作業の手間
3. 入力項目の多さ
4. 入力項目内容の細かさ
5. 様式の見にくさ、わかりにくさ

の順で影響を与えている。

考察② 作業負担感・人数・時間から見た 取得しやすいと見込まれる加算の種類ベスト3

1位 排泄支援加算

理由：アンケート調査の結果、8種の加算の中で最も作業負担感が少ない。
また人員数1～3名で、総作業時間は月3時間以内も見込める。

2位 褥瘡マネジメント強化加算

理由：排泄支援加算と同程度に作業負担感が少ない。人員数1～5名で総作業時間は月に5時間以内を目標設定にできるのでは。

3位 栄養マネジメント強化加算

理由：3番目に作業負担感が少ない。人員数1名あたり総作業時間は1時間以内を目安とすれば業務コントロールしやすいのでは。管理栄養士の協力が必要。

考察③ L I F Eへの取り組みに関する「労力」の本質

1. <事業で考えた場合>は、“取り組む必要性が感じにくい”又は“労力に見合わない”と**ネガティブ志向**で考える傾向にある。

- ・タイパ・コスパで考えると各加算の単価が低いと考えてしまう。
- ・最低人員（人数・職種）で最低限の役割を果たす運営方針である場合、各加算算定に至りにくい。

⇒各加算算定がない場合は、L I F Eの提出に至らない。

2. <老健のあるべき姿と考えた場合>は、“仕方のない労力”又は“必要な労力”と**ポジティブ志向**で考える傾向にある。

- ・役割であるリハビリマネジメントをする上では口腔・栄養を含むリハビリ計画とアセスメントデータ、自立支援を促すためには、薬剤・ADL・排せつ・褥瘡・精神認知機能・生活の計画とアセスメントは、人生を支えるために必要な労力と捉える。

⇒結果的に殆どの加算算定に至るため、L I F Eの提出に繋がる。

◎超強化型と生産性向上（ICT・介護ロボット化）に着手した施設はL I F E算定率が高いため、**本質はこの辺にある**と推察する。

4. 終わりに

- ・第1回目のアンケート調査ではLIFE加算を取得するにあたり労力が課題の一つとなっていることが解った。今回はその労力について、より詳細な調査を試みた。
- ・厚生労働省が主導するLIFEのシステムを根本から変えることは不可能に等しい。一方で社会情勢からも各施設が厳しい状況下にあることも肌で感じている。
- ・会員施設に向けて、LIFEが効率的に算定でき、その取り組みが現場レベルで効果的に活かされるように、情報発信等これからの活動を続けていきたい。

LIFE活用支援委員会

委員長 事務連

野村 常夫（介護老人保健施設ケアステーションひかり）

佐々木 宣明（老人保健施設サニーヒル）

平野 信也（介護老人保健施設愛里苑）

リハビリ委員

及川 忠宏（介護老人保健施設フェニックス）

後藤 航（介護老人保健施設ケアステーションひかり）

吉田 哲也（介護老人保健施設月形緑苑）